令和８年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会
第１回幹事会

開催日時　令和８年８月２０日（木）１０：００～１１：３０
開催場所　四日市商工会議所　３階大会議室（オンライン併用）

１　議事次第

・議決事項　第１号 令和７年度歳入歳出決算について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料１
・議題　　第１号 幹事会会員の変更について（報告）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料２
・議題　　第２号 今年度の活動内容について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料３
・議題　　第３号 ワーキンググループ（WG）の実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料４、５
・議題　　第４号 その他報告事項について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料６、７

２　各議題の説明

議決事項　第１号　令和７年度歳入歳出決算について

四日市スマートリージョン・コア推進協議会に係る令和７年度収支決算について、協議会の承認を得ようとするものです。詳細は資料１をご参照ください。

議題　第１号　幹事会会員の変更について（報告）

本協議会幹事会会員である中部電力株式会社について、令和８年６月１８日付けで本協議会より退会することとなりました。詳細は資料２を参照ください。

議題　第２号　今年度の活動内容について

今年度の活動内容及びスケジュール案を紹介します。詳細は資料３をご参照ください。

議題　第３号　ワーキンググループ（WG）の実施報告

今年度、データプラットフォームWG及びモビリティWGを各々１回開催いたしました。WGの実施状況についてご説明します。詳細は資料４、資料５をご参照ください。

議題　第４号　その他報告事項について

前号までの議題で主な進捗状況をご説明いたしましたが、以下の項目について補足説明をいたします。詳細は資料６、７をご覧ください。

・市広報における四日市スマートリージョン・コアに係る取組紹介について
・「ニワミチよっかいち」シンポジウムの開催について

３　　資料

資料０：令和８年度第１回幹事会次第（本紙）
資料１：令和７年度歳入歳出決算について
資料２：四日市スマートリージョン・コア推進協議会会員名簿
資料３：今年度の活動内容について
資料４：データプラットフォームWGの実施状況について
資料５：モビリティWGの実施状況について
資料６：市広報における取組紹介について
資料７：「ニワミチよっかいち」シンポジウムの概要について

別添１：出席者名簿
別添２：席次表

以上

資料①

議決事項　第１号

令和７年度　歳入歳出決算書（案）

【歳　　入】　　（単位：円）

款	項	目	当初予算額 予算現額	決算額	予算現額と 収入済額との比較	備　　考
国庫補助金	補助金	補助金	31,500,000	31,500,000	0	令和７年度当初事業分スマートシティ実装化支援事業補助金
構成員負担金	負担金	負担金	23,402,000	23,392,000	10,000	令和７年度当初事業分四日市市負担金
繰越金	繰越金	繰越金	19,000,464	18,993,064	7,400	令和６年度補正事業分スマートシティ実装化支援事業補助金 令和６年度補正事業分四日市市負担金 利息
諸収入	雑入	雑入	0	4,413	△ 4,413	利息
合　　計			73,902,464	73,889,477	12,987	

【歳　　出】　　（単位：千円）

款	項	目	当初予算額 予算現額	決算額	予算現額と 支出済額との比較	備　　考
運営費	会議費	会議費	0	0	0	
	事務費	事務費	0	0	0	
事業費	事業費	事業費	73,902,000	73,884,600	17,400	令和６年度補正事業分委託料 令和７年度当初事業分委託料
予備費	予備費	予備費	464	0	464	
合　　計			73,902,464	73,884,600	17,864	

歳入・歳出 決算額の差	4,877

決算額の差額（利息分）4,877円については、令和８年度以降の四日市スマートリージョン・コア推進協議会の予算見込みがないことから、金額を確定させ清算することとします。

議決事項　第１号　令和７年度　歳入歳出決算書（案）経費内訳

（単位：円）

事業名	実行計画に基づく事業に要する経費	
	国庫補助金	その他
令和６年度補正事業分		
❸バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	10,000,000	8,992,600
小　計	10,000,000	8,992,600
令和７年度当初事業分		
❶利活用空間活性化ツールの構築	14,010,000	3,292,000
❷四日市版MaaS(Phase-1)の構築	7,900,000	2,300,000
❹中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング／マネジメント・ツールの構築	9,590,000	17,800,000
小　計	31,500,000	23,392,000
合　計	73,884,600	

令和７年度　監査報告書

四日市スマートリージョン・コア推進協議会に係る令和７年度収支決算について、関係帳簿及び証拠書類を調査した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和８年７月16日

四日市スマートリージョン・コア推進協議会

監査委員　　四日市商工会議所

山下二夫

令和７年度　監査報告書

四日市スマートリージョン・コア推進協議会に係る令和７年度収支決算について、関係帳簿及び証拠書類を調査した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和８年 ７月 ８日

四日市スマートリージョン・コア推進協議会

監査委員　　株式会社三十三銀行

森田　宏

令和６年度補正

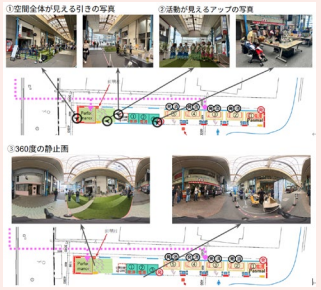
令和７年度事業報告書
四日市スマートリージョン・コア推進事業

【沿道空間利用マネジメントシステム】
　過年度の成果を踏まえ、同システムの正式版（ドラフト）を構築し、社会実験・システム体験会を通じて、システムのユーザビリティと情報の有用性に係る実証実験を実施した。ヒアリング・アンケートの結果から、システムのユーザビリティについては高い評価を得た一方、情報の有用性についてはネガティブな回答が多かった。また、本システムは商店街の活性化に寄与するという評価が得られた。

■ 実証実験の内容

	実験の仮説	令和6年度補正の実施内容
③バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	・人流データ取得ポイント・口コミ投稿機能・3D都市モデル情報反映など、様々なサービス内容の拡張が、利活用空間ウェブサイトにおけるマッチング促進、商店街の活性化につながる。	R6年度の実証結果を踏まえた正式版（ドラフト）を構築し、システム体験会および社会実験を実施した。 **■正式版（ドラフト）の構築** ・R6年度の実証結果を踏まえた与件整理、システム改修案の作成を行い、正式版（ドラフト）を構築した。 ・具体的には、対象場所の空間情報に3D都市モデルの画面の閲覧機能、サービス対象のオープン化、対象エリア拡大、人流データ取得ポイント・予約状況・活用実績等を追加した。 ・昨年度のシステム体験会で得られた意見を基に、トップページ構成の簡素化、ボタンデザインの改善、絞り込みフィルタの視認性向上、空間情報ポップアップの全画面表示化など実施。 **■社会実験・システム体験会等におけるヒアリング・アンケートの実施** ・2025年5月・6月には、中央通り周辺（一番街商店街、中央緑地帯、市民公園前）において社会実験「ニワミチJOYnt Park Days」を実施した。出展スペースの情報を地図上に表示し、出展者とのマッチングを行い、出展者および商店街関係者にヒアリング・アンケートを実施した。 ・2025年12月・2026年1月には、構築した正式版（ドラフト）を用いてシステム体験会を実施。商店街関係者・社会実験協力者、および大学関係者に対して、システムを試用してもらい、マッチングを促進するための人流データの有用性、使用者評価情報の有用性、効果的な情報表示方法、使い勝手、商店街活性化への寄与についてヒアリング・アンケートを実施した。

■ 実証実験で得られた成果・知見

得られた成果・知見（令和6年度補正）	成果の一部
■システムのユーザビリティと情報有用性 　前年度の課題を踏まえた改修により、システムの操作全体のスムーズさについては88%のポジティブな評価を獲得し、昨年度の51%から大幅に改善した。 　一方で、情報の有用性に対するポジティブな回答は全体の48%となり昨年度の62%を下回った。これは、昨年度よりも粒度の細かい情報を掲載でき、掲載情報量自体は増加した一方で、情報が増えたことによりユーザーは細部まで完成度の高い情報（具体性・正確性・最新性・実行に移せる手順）を期待するようになった可能性がある。 **■商店街活性化への寄与** 　本システムが商店街の活性化への期待が高まったと回答した割合は71%となり、KPIを達成した。 理由として、①空間情報や活用イメージを視覚的に提示することで利用シーンを具体的に想像しやすくなり、利用意向の向上につながったこと、②イベント情報等を通じてこれまで認知していなかった場所や取り組みを知る機会が増え、「興味が増した」という評価につながったこと、③空間の使い方や活動のイメージが伝わる情報構成により「まちを使う人や機会を増やす」という活性化の目的との結び付きが理解されやすく、寄与・有用性の評価が高まったことが挙げられる。 **■運用体制とルールに関する知見** 　現段階では、イベント主催者やイベント出展者が本システム上で利用可能な空間を検索した上で、参加申請フォーム（外部リンク）から利用希望日および利用したい空間を申請し、システム管理者である四日市市が当該申請内容を確認・承認した後、システム上のカレンダーに決定したイベント情報を掲載するという運用プロセスとした。	 トップページと空間探しページの改修イメージ  空間情報ポップアップページとカルテのイメージ  展示空間の最適な表現効果検証（商店街）

令和７年度

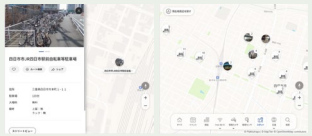
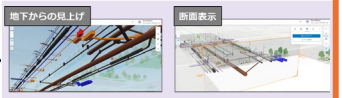
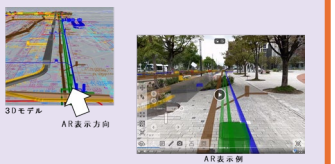
令和７年度事業報告書
四日市スマートリージョン・コア推進事業

【利活用空間活性化】 データ販売等によるマネタイズ可能性についてヒアリング・アンケートを実施。データの市場価値に対しては評価を得た一方、価格設定に対しては案件・期間など条件によるという回答が多数。災害情報連携の水平展開可能性については、回答者全員から意義があるとの評価を得た。
【四日市版MaaS】 MaaSデータダッシュボードの構築と情報拡充による利用者増加効果を検証。ダッシュボードの有用性やMaaSの満足度については評価を得たものの、ポータルサイトへのアクセス数やイベント時の利用者数についてはKPIに対して未達であった。
【デジタルインフラ台帳】 デジタルインフラ台帳構築範囲の拡大と運用体制・ルールの検討、ARソフト活用による有用性を検証。アンケート回答者の多くがR7年度時点での実装が可能と回答し、デジタルインフラ台帳及びARソフトの有効性、工数削減効果についても肯定的に評価した。

■ 実証実験の内容

	実験の仮説	令和7年度の実施内容
①利活用空間活性化ツールの構築	・運用体制の明確化とサービスのマネタイズにより、持続的な運営に繋がる。 ・災害時情報伝達機能の充実により、防災力向上に加え、サービスの認知度向上につながる。	**1）利活用空間利用者等に対するデータ提供実証実験** 蓄積された人流および混雑度等のデータをパッケージ化し、不動産開発事業者や広告代理店業者、都市関連研究者等へデータ提供を行い、有用性やデータ可視化サービスの価格設定についてアンケートを実施した。 **2）災害情報コンテンツ効果検証を実施** 発災直後の災害情報コンテンツを自動で提供し、中央通り周辺におけるサイネージ保有事業者へオープンデータ化された災害情報の優位性を周知するとともに、API連携方法を案内し、事業者保有サイネージとの親和性や連携手順についての課題をアンケートにより抽出を行った。
②四日市版MaaSの構築	・MaaSデータダッシュボードを構築、PDCAサイクルにより、今後のサービス改善に繋がる。 ・ユーザーの目的地情報を拡大することにより、システム利用者数と施設利用者数の増加につながる。	**1）MaaSデータダッシュボードに関するアンケートを実施** 想定されるユーザーにプロトタイプのダッシュボードを試行してもらい、その有用性についてアンケートを実施する。 **2）四日市デジタルマップへのアクセス数を計測** 既存情報の拡充と新規情報の構築による影響を把握するため、取組実施前後における四日市デジタルマップへのアクセス数の推移を計測する。 **3）四日市版MaaSと連携したイベント時のこにゅうどうレンタサイクルの利用者数を計測** BAURAミーティングの会場までレンタサイクルを利用したアクセス方法の告知等を行い、利用者増加を計測する。
④中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング／マネジメント・ツールの構築	・中央通りを対象としたモデルの構築、運用体制・ルールを構築、持続可能な運営につながる。 ・ARソフトの活用により、災害復旧時の有用性などを含め、デジタルインフラ台帳の更なる活用につながる。	**1）デジタルインフラ台帳の運用体制・ルールの実証** モデル変更・更新作業に向けたガイドライン・マニュアルを作成し、各関係者の使い勝手（主にデータの管理・やり取りの使い勝手・運用の手間（コスト））についてアンケートを実施する。 **2）ARソフトを活用した現場確認実験の実施** 発注者・設計者・施工者・地下埋設事業者を対象にARソフトを活用した実証、埋設物破損事故防止効果・災害復旧時の機能回復迅速化、災害時の復旧への活用と工数削減効果等についても検証を行った。

■ 実証実験で得られた成果・知見

得られた成果・知見（令和7年度）	成果の一部
■データ提供サービスの市場性とビジネスモデル アンケートの結果、全体の5割以上から、データの市場価値があるとの回答を得た。一方、「初期費用・月額利用料ともに適切」との回答は4.5割で、「案件・期間による」との回答も多く、未だ有効な活用事例が少ない、という意見もあった。 **■災害情報連携の水平展開の可能性に関する評価結果** 公共・民間が管理するデジタルサイネージを対象としたアンケートの結果、災害情報連携の可能性があるとの回答を全社から得られた。	 デジタルサイネージの連携可能性調査の対象
■MaaSデータダッシュボードの有用性 5割以上が肯定的評価となった。改善点として「デバイスを選ばない見やすさ」や「他の分析軸とのかけあわせ」等が挙がった。 **■スマートシティポータルサイトへのアクセス数** 月平均1,976件で、目標5,000件に未達。運用方法の確立が課題となり、見込んでいた増加が得られなかった。 **■イベント時の利用者数の増加** レンタサイクル利用は37台で目標51台に未達だったが、前年度（28台）比では132%の増加となった。 **■四日市版MaaSの満足度** 「使いやすさ」「有用性」とも5割以上が肯定的評価。交通情報充足が満足度向上につながることが確認された。	 駐車場の満空情報等のスポットの拡充  自動運転実証実験連携のイメージ
■デジタルインフラ台帳の運用体制・ルール 大多数の関係者が現時点での実装・運用を可能と評価し、埋設物事業者の多くがR7年度時点での実装が可能と回答した。デジタルインフラ台帳の有効性についても約9割が肯定的に評価した。 **■ARソフトを活用したユースケースの有用性** ARソフトを活用した現場確認について、埋設物破損事故防止効果と災害復旧時への活用に対して全員が有効性を認めた。災害復旧時の工数削減効果についても2D図面使用時と比較して工数を約60%削減できることが確認された。	 デジタルインフラ台帳のイメージ  ARソフトの展開イメージ

四日市スマートリージョン・コア推進協議会会員名簿

資料②

幹事会役員

有識者	東京大学大学院　工学系研究科　教授　村山　顕人（座長）
	名城大学理工学部　社会基盤デザイン工学科　教授　松本　幸正
	早稲田大学　理工学術院　教授　有賀　隆
交通関係者	近畿日本鉄道㈱
	三重交通㈱
	三岐鉄道㈱
	三重県タクシー協会／㈱三交タクシー
商工関係者 大規模権利者 事業展開企業	学校法人みえ大橋学園
	㈱近鉄百貨店
	四日市商工会議所
	近鉄グループホールディングス㈱
	近鉄不動産㈱
	㈱シー・ティー・ワイ
	㈱三十三銀行
行政	国土交通省　中部地方整備局　三重河川国道事務所
	三重県　県土整備部　都市政策課
	四日市市（会長：副市長　荒木秀訓）

オブザーバー

国土交通省　都市局
国土交通省　中部地方整備局
国土交通省　中部運輸局

賛助会員

㈱日建設計
㈱VACAN
㈱FIXER
富士通Japan㈱
FUTURE㈱
㈱マクニカ
早稲田大学

資料③

今年度の活動内容について

■今年度の取組方針

・過年度で国交省補助によるスマートシティ実装化支援事業は終了したが、
事業①～④においては、**過年度の課題解決を目指して今年度も取り組みを継続**

	過年度報告書において記載された課題
事業① 利活用空間活性化ツールの構築	**■データのマネタイズ等を通じた持続可能な維持管理方法の検討 ■民間所有サイネージとの災害情報連携の水平展開**
事業② 四日市版MaaSの構築	**■四日市版MaaSの新規利用者の継続的な増加 ■四日市版MaaSの持続可能な運用体制**
事業③ バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	**■ユーザビリティに係る課題 ■情報の有用性に係る課題 ■運用体制・ルールの課題**
事業④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング／マネジメント・ツールの構築	**■整備対象範囲の拡張 ■データ利用対象者の拡大 ■運用体制の最適化**

■Ｒ８年度のスケジュールについて

現時点

	令和8（2026）年度								
	7	8	9	10	11	12	1	2	3
0．定例会議（市＋NS＋各事業者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1．四日市SRC推進協議会									
幹事会		第1回幹事会 8/20				第2回幹事会			第3回幹事会
データプラットフォームWG	● 第1回 7/21				● 第2回			● 第3回	
モビリティWG		● 第1回 8/12			● 第2回			● 第3回	
2．主な取組（過年度のSC実装化支援事業）									
①利活用空間活性化ツールの構築	・データ提供 ・マネタイズ手法の検討 ・民間所有サイネージ　連携可能性・費用調査 ・ポータルサイト視認性・情報発信機能強化		可能性・費用調査	連携に向けた調整	視認性向上 月１回情報発信				
②四日市版MaaSの構築	・自動運転バスの情報表示 ・路線バスの情報表示 ・イベントにおける情報表示 ・四日市場MaaSの在り方検討		改修 大四日市まつり、花火大会 Ｒ９年度施策検討	実装 サイクルスポーツフェス	バスタ開業に向けたコードマップ作成			ランフェス R8年度効果検証	
③バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	・まちづくり先進事例研究 ・ニワミチシンポジウム（仮称）でのブース展示・発表								
④デジタルインフラ台帳の構築	・台帳の収集・整理 ・3Dモデルの作成 ・同台帳の構築 ・同台帳の更新公表								

事業①：利活用空間活性化ツールの構築

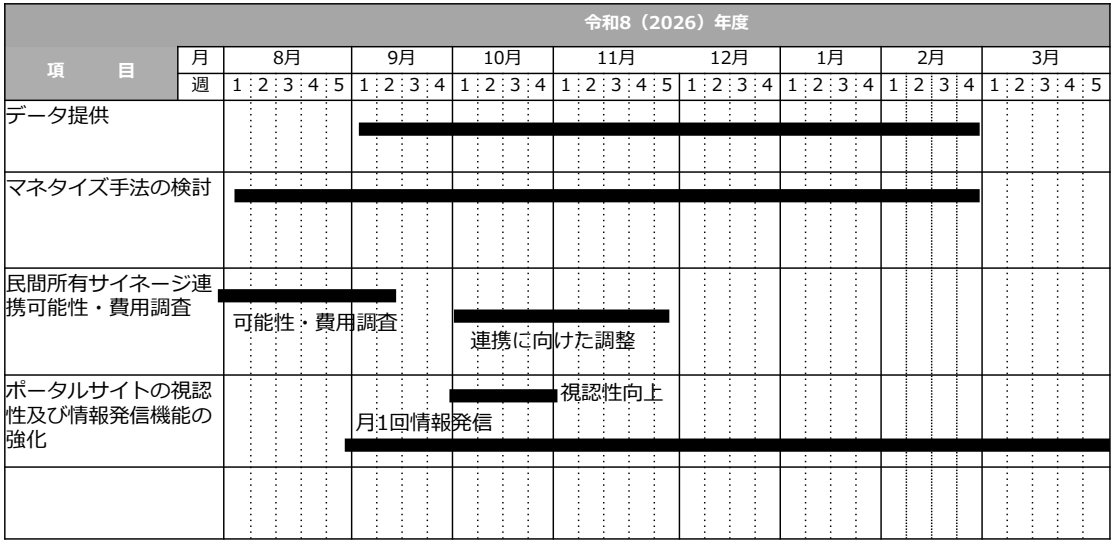
■過年度の課題等

データのマネタイズ等を通じた持続可能な維持管理方法の検討
民間所有サイネージとの災害情報連携の水平展開

■今年度の取組内容

取組内容	KPI
1．マネタイズ手法の検討及びデータ提供	2件/年
2．民間所有サイネージとの災害情報連携に係る可能性・費用調査	ー
3．ポータルサイトの視認性の向上及び情報発信機能の強化	―

■全体スケジュール



事業②：四日市版MaaSの構築

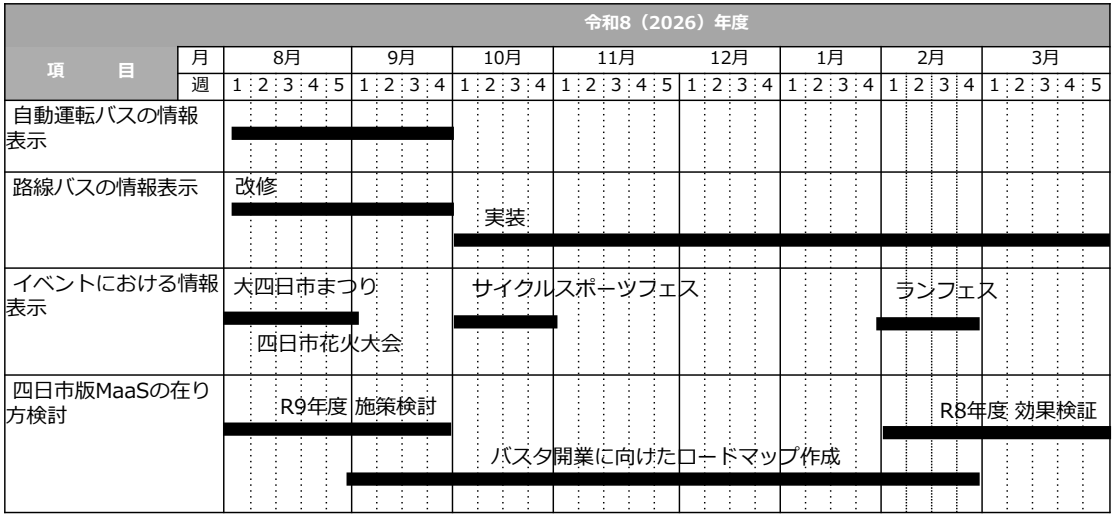
■過年度の課題等

イベント時は利用が拡大する一方、特定施策・期間に集中し、
日常的・継続的な利用に向けた設計・運用が課題

■今年度の取組内容

取組内容	KPI
1．自動運転バス・路線バス情報の拡充（自動運転バス・路線バスのリアルタイム位置/満空情報、近鉄・JRバスのりば情報の発信）	ー
2．行政施設間の経路提案（税務署・市役所・年金事務所間の路線バスルート情報発信）	ー
3．イベントにおける"面"での情報発信（交通規制箇所表示、ランイベント等のコース表示）	3,000PV/月 (設定予定)

■全体スケジュール



事業③：バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築

調整中

■過年度の課題等

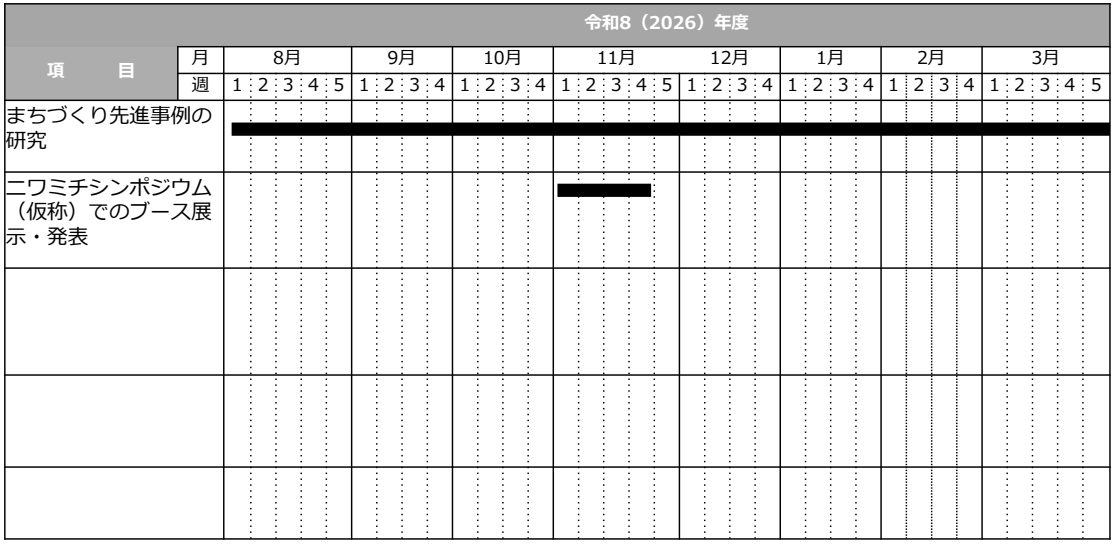
運用体制・ルールの課題
情報の有用性に係る課題

■今年度の取組内容

取組内容	KPI
1．まちづくり先進事例の研究	ー
2．先進事例の取組を11月開催のニワミチシンポジウム（仮称）でのブース展示・発表	ー

⇒システム改修を行う時期については、翌年度以降新たな公共空間が誕生した際に実施
　今年度はシンポジウムでのブース展示・発表に参加

■全体スケジュール



事業④：デジタルインフラ台帳の構築

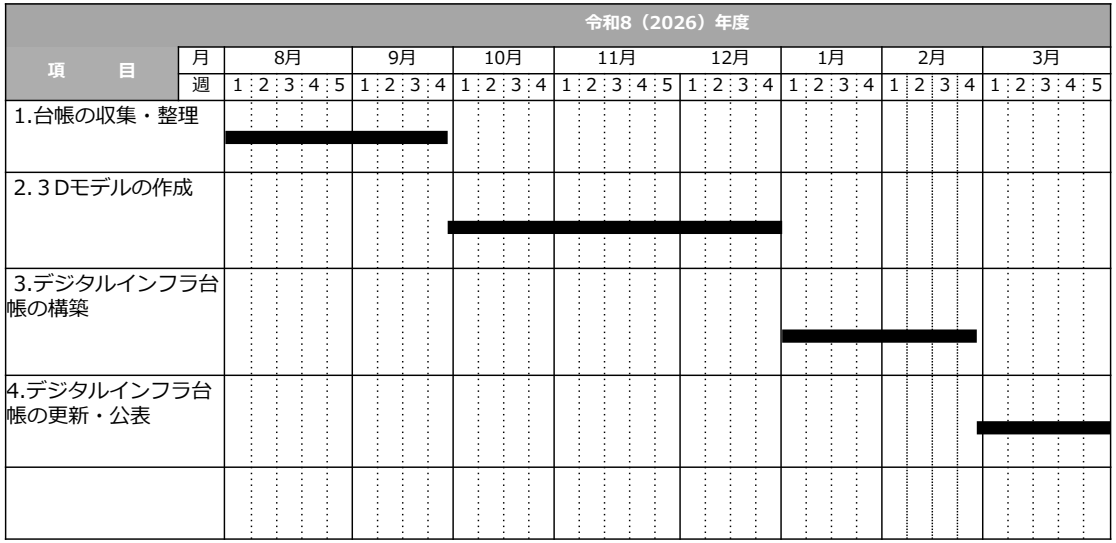
■過年度の課題等

●整備対象範囲の拡大
　中央通りの工事進捗に合わせて、デジタルインフラ台帳の整備範囲拡幅。

■今年度の取組内容

取組内容	KPI
1．地下埋設物台帳等資料の収集・整理	ー
2．地下埋設物3Dモデルの作成	ー
3．デジタルインフラ台帳の構築	地下埋設物業務の効率化に対し肯定的な意見の割合が80%以上（アンケート調査を実施）

■全体スケジュール



追加資料

目指す将来像	サービス設定	No.	取り組み内容	KPI	R3（策定時値）	R4	R5	R6	R7	R8目標値	R9	進捗率（最新値／R8目標値）
交通利便性が高く歩きたくなるまち（Walkable & Mobility）	サービス／まちなかウォーカブル・ネットワーク	1	ウォーカブル・ネットワーク、交通結節拠点としてのスマート・バスタの整備	**中心市街地の歩行者流量** ※四日市総合計画より本実行計画の目標年に合わせて設定	平日 60,116人（平成30年度）	52,090人	53,777人	52,793人	未	60,700人	取組継続	86.97%
					休日 58,406人（平成30年度）	50,021人	53,973人	59,250人	未	62,400人		94.95%
		2	待ち時間や移動時間を楽しめるモビリティの導入	**路線バス利用者数** ※近鉄四日市駅前における三重交通バスと三岐鉄道バスの平日1日あたりの乗降者数の合計	7,979人/日（平成30年度）	5,597人/日	6,085人/日	6,220人/日	未	8,000人/日		77.75%
				高速バス利用者数 ※近鉄四日市駅前における高速バスの平日1日あたりの乗降者数の合計	244人/日（平成30年度）	126.2人/日	145.4人/日	143.4人/日	未	300人/日	取組継続	47.80%
快適で安全に生活できるまち（Green & Energy）		3	ウォーカブル＋ウェルネス環境の展開	**中心市街地の歩行者流量** ※四日市総合計画より本実行計画の目標年に合わせて設定 ※国土交通省スマートシティ実装化支援事業のKPIより引用	平日 60,116人（平成30年度）	52,090人	53,777人	52,793人	未	60,700人	実装完了	86.97%
					休日 58,406人（平成30年度）	50,021人	53,973人	59,250人	未	62,400人		94.95%
健やかでかつ賑わいのあるまち（Festivity & Wellness）	サービス／使える・楽しめるパブリックスペース	4	パブリックスペースの可能性最大化	**新たに整備される中央通りのオープンスペースにおけるイベント開催件数**	0件/年	1件/年（はじまりのいち（整備前の空間））	1件/年（中央通りストリートサーキット（整備前の空間））	1件/年（ニワミチスポットてらす（整備済み区間））	1件/年（ニワミチJOYntParkDays（整備済み区間））	6件/年以上	取組継続	16.67%
		5	インタラクティブなストリートファニチャー	**中心市街地の歩行者流量** ※四日市総合計画より本実行計画の目標年に合わせて設定	平日 60,116人（平成30年度）	52,090人	53,777人	52,793人	未	60,700人	実装完了	86.97%
					休日 58,406人（平成30年度）	50,021人	53,973人	59,250人	未	62,400人		94.95%
快適で安全に生活できるまち（Green & Energy）		6	災害に強い中央通り	KPIの設定は行わなかったものの、効果的な手法について検討を進めた。 その手法のひとつとして、データプラットフォームを通じた災害時情報のオープン化およびデジタルサイネージを活用した適切な災害情報伝達方法については、国土交通省のスマートシティ実装化支援事業の令和６年度に行った災害時を想定した情報伝達実験において、被験者の行動観察等を個別にKPIに設定し、システムの有用性等の検証を行った。 令和7年度末でシステムが実装化されることから、令和8年度以降に効果検証を進める。							実装完了	
健やかでかつ賑わいのあるまち（Festivity & Wellness）	サービス／交流・賑わいのバリューアップ	7	人流誘導による商店街活性化	**商店街の空き店舗数** ※四日市総合計画より本実行計画の目標年に合わせて設定	12.1%（平成30年度）	10.70%	10.20%	9.90%	未	11.30%	実装完了	114.1%（達成済）
		8	スマート図書館	**中心市街地の歩行者流量** ※四日市総合計画より本実行計画の目標年に合わせて設定	平日 60,116人（平成30年度）	52,090人	53,777人	52,793人	未	60,700人	実装完了	86.97%
		9	メタバース（デジタルツイン）		休日 58,406人（平成30年度）	（災害リスク（浸水）の可視化）	（中央通り再編計画の重畳）	（埋蔵文化財の可視化）	（デジタルインフラム帳）	人	実証完了	94.95%
データ利活用によるサービス提供、イノベーション創出（Accessible & Innovation）	ソフト・インフラ	10	データプラットフォーム	**データプラットフォームの閲覧数** ※デジタルマップの閲覧件数。R6年度から本格運用開始 ＊ R7年度数値は令和８年3月18日現在の数値 ＊＊ R7年度数値／R8年度目標値	0件/年	―	―	40,927件	16,977件*	50,000件	取組継続	33.95%**
		11	3D都市モデル	**３D都市モデルを活用したユースケース件数**	0件	1件	2件	3件	4件	5件以上	実装完了	80.00%
	ハード・インフラ	12	スマート・インフラ	―	―			―		―		

※令和10年度以降については、ソフト事業について協議会の場でご意見をいただきながら取組を進めていく。

資料④

幹事会報告書

第17回　データプラットフォームWG

四日市スマートリージョン・コア推進協議会

データプラットフォームWG

令和8年８月２０日（木）

AGENDA

	議　事	DUR	TIME
1	**ご挨拶** 四日市市 デジタル戦略課 行政DX推進室 吉田室長	5分	13:00
2	**アドバイザー紹介** **メンバー紹介**	10分	13:05
3	**令和8年度 検討テーマ「公園DX」**	10分	13:15
4	**各社ソリューション提案** ・富士通Japan様 ・マクニカ様 ・TIS様 ・TOPPAN様 **質疑応答**	30分	13:25
5	**アドバイザー総括**	5分	13:55
			14:00

参加団体

事業者名	備考
近鉄グループホールディングス 株式会社	
近畿日本鉄道 株式会社	
三岐鉄道 株式会社	
株式会社 三十三銀行	
株式会社 シー・ティー・ワイ	代表企業
株式会社 日建設計	
株式会社 FIXER	欠席
株式会社 VACAN	欠席
中部電力株式会社	欠席

事業者名	備考
富士通Japan 株式会社	
株式会社マクニカ	欠席
三重交通 株式会社	
四日市商工会議所	
国立大学法人三重大学　村田　博司	アドバイザー
国立大学法人三重大学　中村　孝夫	アドバイザー
四日市市	事務局
株式会社 日建設計総合研究所	事務局補佐

第1回	令和3年度	12月7日	・代表企業選定 ・WG概要共有
第2回		1月20日	・各社サービス・データ利活用紹介 ・四日市版DOFのあるべき姿の検討
第3回		2月21日	・四日市版DPFのコンセプト共有 ・実行計画に記載するサービス案
第4回	令和4年度	5月25日	・令和4年度検討方針共有 ・勉強会：情報銀行について
第5回		9月15日	・各種新緑報告 ・WG今後の進め方（新スキーム）共有
第6回		11月24日	・各種進捗報告 ・WG開催について
		1月17日	WG主催ワークショップ
第7回		3月8日	・各種新緑報告 ・WSにて収集した意見の整理
第8回	令和5年度	6月28日	・WG活動方針 ・地域団体との連携
第9回		10月27日	・全体ストラクチャー／スマート関連共有 ・勉強会：他地域事例
第10回		3月19日	・令和5年度振り返り ・国交省スマートシティ実装化支援事業共有
第11回	令和6年度	7月10日	・過年度の取り組み ・令和6年度の活動
第12回		12月6日	・ワークショップ開催 （テーマ 市民公園・商店街）
第13回		3月24日	・ワークショップ結果 ・大学機関の実証
第14回	令和7年度	7月31日	・過年度の取り組み ・国交省スマートシティ実装化支援事業共有
第15回		12月16日	・スマートシティ先進都市視察会報告 ・ワークショップ報告 ・国交省スマートシティ実装化支援事業共有
第16回		3月12日	・令和7年度 活動報告 ・令和8年度 活動計画
第17回	令和8	7月21日	・公園DXソリューション紹介

● 「公園DX」をテーマに進行

- 四日市市中心市街地の４つの公園（市民公園、中央通り公園、鵜の森公園、諏訪公園）のリニューアルおよび新設工事に合わせテーマ設定
- 市民アンケートとフィールドワークを含むワークショップで課題抽出
- 他都市事例の視察も実施し、WGでの知見を深め、課題解消に向けたアイデアを創出
- 次年度は、実装に向けた要件・コストの洗い出しフェーズへ移行
  ※視察内容、抽出課題のリストは次ページ以降参照



令和7年7月31日 資料



● 令和7年11月24日｜ワークショップでの抽出課題

市民アンケートでの抽出課題

（1） 暑さ・快適性
・日陰や座って休める場所が少ない
（特に夏に涼める場所が欲しい）

（2）トイレ・子育て対応
・トイレ環境への不満
（トイレ・授乳／おむつ替え等の観点での使いづらさを示唆）

（3）治安・安心感
・治安／安全面が不安な時がある
・ホームレスのような人が増えたという声
・防犯カメラ（CCTV）ニーズ
（「楽しく安全なCCTV！防犯カメラ」等）

（4）清潔さ・ゴミ
・ゴミ・清潔さが気になる
・飲食物のゴミがベンチに放置されているという具体指摘

（5）マナー
・マナーが悪い利用者がいる
（利用しづらさの要因）

ワークショップ

（1）安全・防犯／安心感
・ゴミが落ちている（ポイ捨てが多い印象）
・不審者・治安への不安
（「怪しい人が多い」等の声）
・ホームレスと思われる人がいる
・外国人のたまり場になっている
（という見え方／不安）
・防犯カメラがない／不足している
・つまずきそうな場所がある（段差・足元の危険）

（2）トイレ・休憩・基礎設備
・トイレがない／少ない
・トイレの場所が分かりづらい
（案内が弱い／トイレMAPがない 等）
・ベンチが少ない
・屋根付きで休憩できる場所がない
（雨天・日差し回避がしにくい）
・遊具が少ない

（3）電源・通信（公園DXの土台）
・電源を取れる場所が分からない／使いづらい
（イベント時含む）
・イベント時に使えるコンセントがない
（運用面の課題）
・Wi-Fiなど通信環境が弱い／分かりづらい
（「通信環境が悪い？」の指摘）

（4）案内・サイネージ・情報提供
・どの方向に何があるか分かる大きな案内板が欲しい
・公園周辺のMAPがない／不足
・ケガ・災害時の対応（処置・連絡先）が分かりづらい
・サイネージが少ない／目立たない
・サイネージが見られていない・活用できていない
・何のイベントか分からない
（表示がない／情報が不足）

（5）ルール・マナー・運用
・自転車の進入禁止が分かりづらい
・実際に自転車が入ってきている
（ルールが機能していない）
・駐輪場がない／不足

（6）環境・快適性
・虫が多い
・緑が少ない／芝が少ない
（芝生エリアが小さい）
・床面がコンクリ中心で、転倒時のケガが心配

令和8年6月30日｜四日市市関連部署 意見交換会

出席者｜四日市市 総務部 デジタル戦略課 DX推進室／都市整備部 公園緑政課／シティ・プロモーション部 観光交流課
議事次第｜（１）DPF WGおよび経緯　（２）DPF WG検討テーマ「公園DX」（３）意見交換

対象公園の現状とエリア特性

鵜の森公園
市街地の玄関口/憩いの場。芝生・花木・茶室を整備。インクルーシブ遊具導入で全世代向けにリニューアル。

諏訪公園
商店街直結。諏訪公園交流館・児童館を内包。市民イベント利用のハブ。複合遊具を配置。

市民公園
駅西側の広大なオープンスペース。大規模イベントでの利用が中心となっており、高い集客力を持つ。

中央通り公園
再編事業に伴い、現在整備・工事が進行中。「ニワミチ」構想の中核となる最重要エリア。

運用・プロセスのボトルネック（課題）

- **申請の窓口・紙対応（年間400〜500件）** 営利・非営利の判別、条例等に伴う複雑な料金計算が必要なため、対面詳細ヒアリングに依存せざるを得ない。
- **イベント情報発信の省力化ニーズ** 現在は主催者独自のSNS発信に依存。「公園緑地ガイド」HPはあるものの、タイムリーな周知に手が回らない。
- **ボランティア制度の運用・データ管理** 有償自治会ボランティア（草刈り面積換算）や企業ボランティア制度が始動。成果とインセンティブの可視化が急務。

提案①：『ニワミチ』中心の回遊促進＆情報発信DX

観光交流課 × 公園緑政課

ニワミチポータルとオープンローミングによる環境整備

- **ポータルの高度化：**イベント主催者の申請データを、ポータルサイトへ自動反映・自動マップ化
- **Wi-Fi認証基盤：**「オープンローミング」の早期整備により、シームレスな通信環境を提供。
- **回遊動線分析：**Wi-Fiログを活用し、諏訪公園〜中央通り〜鵜の森公園の市民・ビジター回遊動線を可視化。

提案②：段階的『スマート利用申請』システムの構築

公園緑政課 × DX推進室

条件分岐フォームと料金シミュレーターによる窓口負荷軽減

- **オンライン事前判定：**「営利/非営利」「イベント規模」を事前判定する分岐型フォームを実装。
- **料金シミュレーター：**条例に基づく利用料をWeb上で自動算出。対面前の「要件整理」を徹底。
- **窓口事前予約：**詳細ヒアリングが必要な案件は、オンラインで事前書類提出＆面談予約を可能に。

提案③：『協働型維持管理（ボランティア）』の可視化

市民・企業 × 公園緑政課

活動成果のデジタルマップ化とインセンティブ創出

- **活動ダッシュボード：**自治会・企業による「草刈り面積」や「管理場所」をDPFマップ上にマッピング
- **企業PR連携：**企業の社会貢献活動をデジタル上で可視化し、現場のネームプレート効果を最大化。
- **簡易報告：**ボランティアがスマホで活動前後（Before/After）を写真撮影するだけの簡易完了報告。

四日市市デー

● テーマ「公園DX」令和7年度テーマを継続・実装化のフェーズへ

- WG、WSでリストアップされた課題・アイデアの実装を目指して案件化するフェーズへ移行
- WGメンバーの知見・技術を結集する他、市民を対象としたWSを開催し、
  市民ニーズに応需するDX実現を目指す



・課題抽出
・アイデア創出

Phase 1
着想の萌芽

令和7年度

・実装に向けた
要件・コストの
洗い出し
・予算化
・サービス構築
（アプリなど）
・**実装**

Phase 2
構想の深化

令和8年度

・ブラッシュアップ

Phase 3
計画の具現

令和9年度

スマートリージョン・
コア推進計画の描く
将来像の実現

- **交通利便性**
- **健やか賑わい**
- **快適安全**
- **データ利活用**

将　来

● スケジュール

	第17回	第18回	第19回
開催時期	7月21日（火）	11～12月	令和９年３月中旬
開催形式	オンライン形式	オンライン形式	オンライン形式
実施内容	**テーマ確認・ソリューション**	**中間報告**	**活動報告**
詳細内容	・昨年度課題の振り返り ・公園アプリのテーマやソリューション案の検討 ・各社ソリューション発表	・公園アプリテーマ及びソリューション開発方針の報告 ・開発スケジュール及び進捗報告	・Ｒ８年度公園アプリ成果発表 ・次年度活動方針の検討

四日市市 公園DX：課題抽出からアプリ展開へ

ワークショップ抽出課題

令和7年11月24日の検討会および市民アンケートより抽出された現場のリアルな障壁

安心・安全と快適性の確保

防犯カメラ(CCTV)や夜間照明の不足、ゴミの放置・ポイ捨てへの懸念。夏場における「涼める日陰」や休憩スペースの不足。

トイレ・子育てインフラの使いづらさ

トイレ自体が少ない、または場所が分かりにくい。乳幼児向けの授乳スペースやおむつ替え環境が整備されておらず利用に躊躇する。

情報・通信案内およびルールの機能不全

Wi-Fi・イベント電源の利便性不足。自転車進入禁止などのマナー徹底、ケガ・災害時の緊急連絡先の分かりにくさ。

令和8年度：公園DXアプリによる課題解決

市民と公園運営をデジタルでつなぎ、安全性と日常的な賑わいを両立させるプラットフォーム

スマート公園ナビ機能

詳細な「トイレ・日陰マップ」「通信/電源設備マップ」を提供。初めての利用者や子育て層に最適な安心ルートを表示します。

市民連携型レポーティング(インシデント報告)

ゴミ放置、段差などの危険箇所、不具合を現場からスマホで写真付き即時通報。行政・維持管理体制と直結し早期解決へ。

電源・通信スポット＆イベント予約システム

園内Wi-Fiへのスムーズな接続や、イベント時等における電源使用スペースのデジタル申請・鍵開閉などを一元化します。

実装ロードマップ

令和7年11月24日	令和8年10月	令和9年2-3月
課題抽出WS (現状分析)	アプリ開発 (設計・実装)	実証開始・運用 (サービス開始)

各社報告

● 検討事項｜公園DXに関するアプリ等のアウトプット

前　提

・今回検討対象とする公園は、中心市街地に所在する鵜の森公園、市民公園、諏訪公園、中央通り公園の４か所
・オープンデータおよびデータプラットフォームを活用したアウトプットを検討したい
・中央通り再編の将来像のひとつである「回遊性」の実現を目指す

現在保有するツール

・ニワミチポータルサイト／デジタルマップ
・デジタルサイネージ
・イベント情報集約サイト
・四日市観光協会ホームページ
・各種SNS（公式LINE、Instagram等）

現在保有するシステム・データ

・各種オープンデータ
・データプラットフォーム

四日市市 公園DX構想

～管理しやすく、使いやすい公園づくりをデータ活用で支援～



① 現状・課題

公園管理者

- 公園設備の状況把握が大変
- 巡回・点検に手間がかかる
- 修繕すべき箇所の判断が難しい

利用者

- 暑い
- トイレが分からない
- 涼める場所が分からない
- 公園利用を控える



② 提案コンセプト

データ活用で
「管理しやすい公園」と「使いやすい公園」を実現

公園管理者向けDX
公園維持管理の効率化

公園DX

利用者向けDX
公園利便性の向上

公園価値向上

③ データプラットフォームの価値（両施策を支える共通基盤）

【入力】各種データの集約

- 公園設備情報
- 点検結果
- 施設情報
- トイレ情報
- 涼みスポット情報

「データプラットフォーム」情報を一元管理

データ連携/データ蓄積/ダッシュボード可視化/セキュリティ

【出力】2つの出口で価値に変換

出力① 維持管理DX
→ 修繕判断支援

出力② 生成AIサービス
→ 市民サービス向上
- 予防保全
- 利用促進

④ 提案① AI画像解析を活用した維持管理DX（管理者向け）

公園設備の状態を効率的に把握し、職員が本当に対応すべき箇所へ集中

職員・指定管理者・ボランティア → 写真撮影 → AIによる画像解析 → 劣化・破損・異常検知 → 修繕優先順位付け → 効率的な維持管理

対象例：遊具／ベンチ／公園設備（柵・照明など）／樹木／落書き／破損箇所

管理者が見えるもの

どこの公園で ／ 何が壊れていて ／ 優先順位は何か

期待効果
- 点検業務効率化
- 管理コスト削減
- 異常の早期発見
- 予防保全
- 公園運営高度化

⑤ 提案② 生成AI×LINEによる公園コンシェルジュ（利用者向け）

利用者が「調べる」ではなく「聞くだけ」で必要な情報を取得できる

データプラットフォームに登録：公園情報／トイレ情報／多目的トイレ／授乳室／クーリングシェルター／図書館／公民館／駐車場 → データプラットフォーム → 生成AI → LINE

利用イメージ

- 近くのトイレどこ？ → 徒歩5分先の○○公民館／多目的トイレ利用可能です。
- 暑いので休める場所は？ → 徒歩5分先のクーリングシェルター／現在利用可能です。
- 子どもと休める場所は？ → 授乳室あり、トイレあり、ベンチありの場所があります。

公園をつなぐまちなかモビリティ（回遊・移動支援）

活用手段：MaaS／シェアサイクル／小型EV

移動ルートイメージ：① モビリティポート → ② 諏訪公園 → ③ 市民公園 → ④ 図書館 → ⑤ 中央通り公園

効果
- 移動負担軽減
- 公園間移動増
- 面的回遊を促進

⑥ 将来像・期待効果

管理者向け将来像

少ない人員でも効率よく維持管理できる公園

期待効果
- 点検負荷削減
- 維持管理負荷軽減
- 公園設備の長寿命化
- データに基づく修繕判断

利用者向け将来像

必要な情報がすぐ分かり、安心して利用できる公園

期待効果
- トイレ案内改善
- 涼みスポット誘導
- 安心・快適な公園利用
- 公園利用促進

最終成果

公園価値向上

回遊・滞在の創出／賑わい創出／健康増進／コミュニティ活性化／行政運営の高度化



公園DXは新たな設備を増やすことが目的ではなく、既存の公園資産とデータを活用し、公園管理の効率化と利用者利便性向上を実現する取り組み。
四日市市のデータ連携基盤を使い、データを「集めて終わり」にせず、2つの出口で価値を生み出します。



confidential

四日市市 公園DX ご提案資料

2026/7/17

株式会社マクニカ
スマートシティ&モビリティ事業部
CPSソリューション開発部　第一課
髙綱 浩仲

MACNICA

©Macnica,Inc.

confidential

提案①

公園アプリ × 自動運転バスによる回遊促進

公園アプリと自動運転バスの位置情報を連携し、GeoFence通過時に車内モニター・乗客アプリ・園内サイネージへ同時に情報を届ける

位置情報連携

公園アプリに設置したGeoFenceと、自動運転バスの位置情報をリアルタイムに連携

3チャネルへ同時配信

バスがGeoFenceに差しかかると、公園アプリ登録のイベント情報を自動配信
・車内モニターに表示
・乗客の公園アプリにポップアップ通知
・園内デジタルサイネージも連動

デジタルクーポン配信

併せて周辺店舗で使えるクーポンを配信し、回遊をさらに後押し

訴求ポイント

イベントの認知拡大にとどまらず、周辺の回遊を促すクーポン配信を行うことで、滞在時間の延長と経済効果拡大を狙う。
また、既存デジタルマップと公園アプリを連携して、デジタルマップ上でもリアルタイムでイベント情報やクーポンを配信可能。
展開の課題は、観光課や商店街との連携をどのように進めるか。

©Macnica,Inc.

confidential

提案②

LiDARによる進入禁止区間の自転車検知・警告 ※現状は中央通りが対象

中央通りに設置予定のLiDARを活用し、自転車乗り入れ禁止区間への進入を検知した際に音声・光・サイネージ等で注意喚起する

LiDARセンサーの活用拡大

中央通りに設置予定のLiDARの活用拡大案
進入禁止エリアへの乗り入れをリアルタイムに検知

自動警告

進入検知時に音声・光・デジタルサイネージで即座に注意喚起

データ蓄積・活用

検知データをデータプラットフォームに蓄積し、進入頻度を可視化
→柵設置など今後の意思決定材料に

訴求ポイント
市の解決方針「注意喚起＋通報＋運用手順のテンプレ化」と相関性が高い取り組み。
注意点は、LiDARの検知エリアが自転車禁止区間を十分にカバーできるか。不足している場合は、追加のLiDARが必要になる。

MACNICA

©Macnica,Inc.

confidential

MACNICA

・本資料に記載されている会社名、商品またはサービス名等は各社の商標または登録商標です。なお、本資料中では、「™」、「®」は明記しておりません。
・本資料のすべての著作権は、第三者または株式会社マクニカに属しており、（著作権法で許諾される範囲を超えて）無断で本資料の全部または一部を複製・転載等することを禁じます。
・本資料は作成日現在における情報を元に作成されておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

©Macnica,Inc.

TISI
TIS INTEC Group

第17回データプラットフォームWG

2026.07.21

TISI株式会社
自治体ＤＸソリューション部

© 2026 TISI Inc.

TISインテックグループのご紹介～沿革

TISI発足までの歩み



1971
㈱東洋情報システムを設立し、大阪市東区（現 中央区）でソフトウェア開発サービスを開始

1987
大阪証券取引所 市場第二部に株式を上場

1990
東京証券取引所 市場第二部に株式を上場

1991
東京証券取引所および大阪証券取引所 市場第一部に指定替え

2001
社名を「TIS株式会社」に変更

2004
㈱ユーフィットを子会社化

2008
TIS㈱と㈱インテックが経営統合し、共同持株会社「ITホールディングス株式会社」を設立

2009
ソラン㈱を子会社化

2011
TIS㈱、ソラン㈱、㈱ユーフィットが合併

2016
ITホールディングス㈱がTIS㈱を吸収合併し、社名を「TIS株式会社」に変更

2022
東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、プライム市場に移行



2025
大阪・関西万博の「大阪ヘルスケアパビリオン」に協賛

2026.7
TIS㈱と㈱インテックが合併し、社名を「TISI株式会社」に変更



1964
「㈱富山計算センター」を創立

1970
社名を「株式会社インテック」に変更

1982
名古屋証券取引所 市場第二部に株式を上場

1984
東京証券取引所 市場第二部に株式を上場

1986
東京証券取引所および名古屋証券取引所 市場第一部に株式を上場



1994
富山県富山市に本社ビルタワー111（トリプルワン）を竣工

2015
米国シリコンバレーに現地法人 INTEC Innovative Technologies USA, Inc.を設立

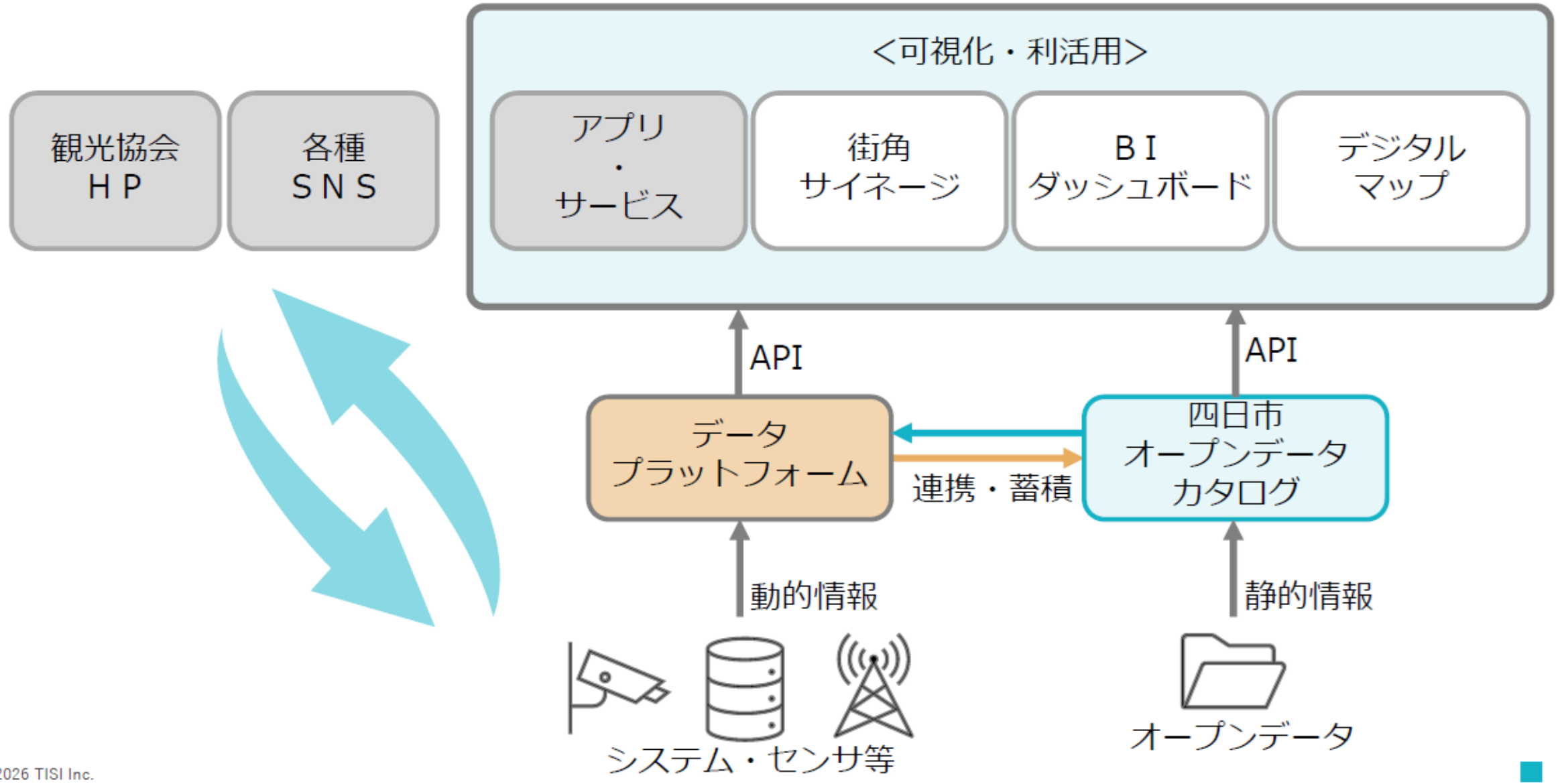
© 2026 TISI Inc.

公園DX

①一層の情報提供
②評価・要望をいただく
③データを活用する

© 2026 TISI Inc.

四日市市様　データの利活用モデル



© 2026 TISI Inc.

公園に行こう！

必要なものは
どこにあるの？

安心して子どもと
お出かけできる？











楽しめるかな？

© 2026 TISI Inc.

公園ＤＸ

TISI
TIS INTEC Group

まずは、公園に安心や期待が出来る情報提供

アクセス手段	コンビニ	気象・天候	イベント情報
駐車場・駐輪場	おむつ交換台	人混み具合	口コミ
トイレ・ 多目的トイレ	授乳場所	近隣渋滞	評価・改善要望
ゴミ箱の位置	クーリング シェルター	Wi-Fi	おすすめ 散歩ルート
飲水・手洗い	喫煙所	ＡＥＤ設置場所	近隣飲食店
自販機	バリアフリー ルート	段差情報	



© 2026 TISI Inc.

デジタルマップによる可視化



デジタルマップの
利用状況も評価要

© 2026 TISI Inc.

どんな人に利用してほしいか？どんな人が利用しているのか？

それぞれの公園の位置づけ

・鵜の森公園…中心市街地の玄関口／付近の住人の憩いの場
　芝生を整備し、四季折々の花木を整備／茶室泗水庵
　インクルーシブ遊具を設置、誰にでも使いやすい公園に
・諏訪公園…商店街が取り囲む位置にある公園／イベント使いがメイン
　諏訪公園交流館・児童館を包括／複合遊具
・市民公園…広大なスペース／イベントでの利用が中心
・中央通り公園…現在、再編工事の進む中央通り内に建設中

親子連れ

オフィスワーカー

若者・学生

© 2026 TISI Inc.

期待と期待の隙間を埋める工夫

行政・観光協会
猟友会



獣害目撃情報





満開情報情報



位置情報付き
(緯度経度)
画像データ
＋
入力した情報

投稿WEBアプリ

投稿者がコメントや
各種情報等も
入力できるWEBアプリです
入力項目等は
職員がフォーム画面で
自由に設定可能

※このページ内の画像は全てイメージです

四日市データプラットフォーム

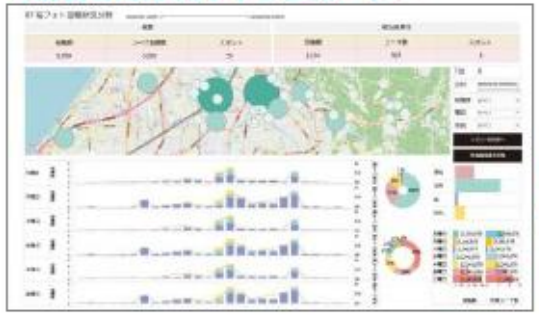


<一般公開マップ>



<一般公開ダッシュボード>

<関係者限定BIダッシュボード>



- 投稿状況を可視化し関係者で共有
- 集計、傾向分析
- データドリブンなプロモーション等に活用

人気撮影スポット　投稿日時
投稿者が入力した情報　その他の関連情報

© 2026 TISI Inc.

データは集まりつつある・・・







デジタルマップ利用履歴





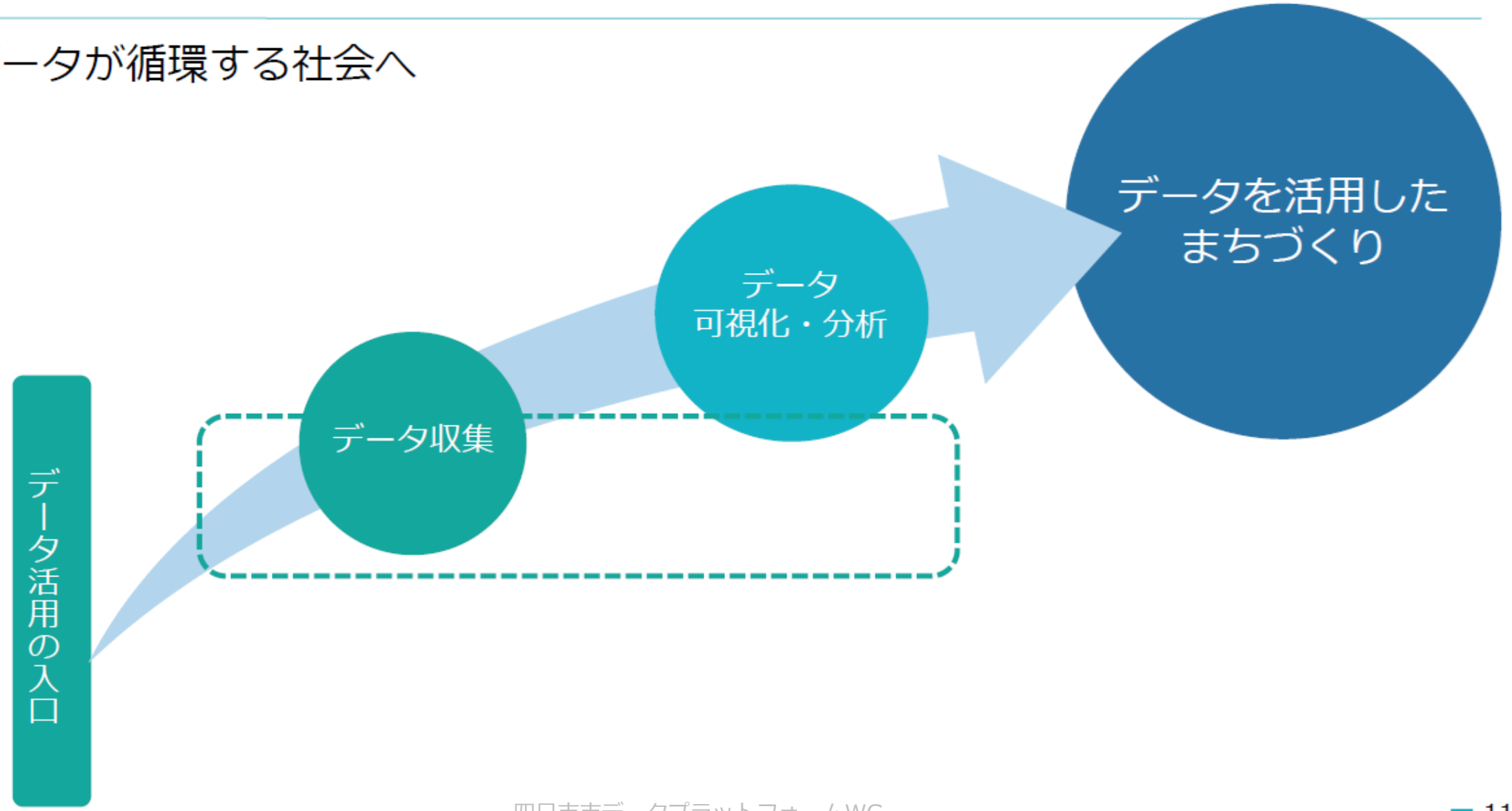


© 2026 TISI Inc.

データを活用したまちづくり

TISI
TIS INTEC Group

データが循環する社会へ



© 2026 TISI Inc.

WGの実施状況

資料⑤

第14回WG　令和7年12月18日 (木)

- **R7年度自動運転実証実験について**
- **R7年度四日市版MaaS事業について**
- **ワークショップ**
- **意見交換**

・令和7年度の自動運転実証実験及び四日市版MaaS事業の進捗状況の共有、MaaSデータダッシュボードの活用ワークショップ、および今後に関する議論を実施

第15回WG　令和8年3月11日 (水)

- **R7年度自動運転実証実験の結果共有**
- **R7年度四日市版MaaS事業の結果共有**
- **四日市版MaaSの3年間の取組まとめ**
- **R8年度以降の取り組み方針の共有**

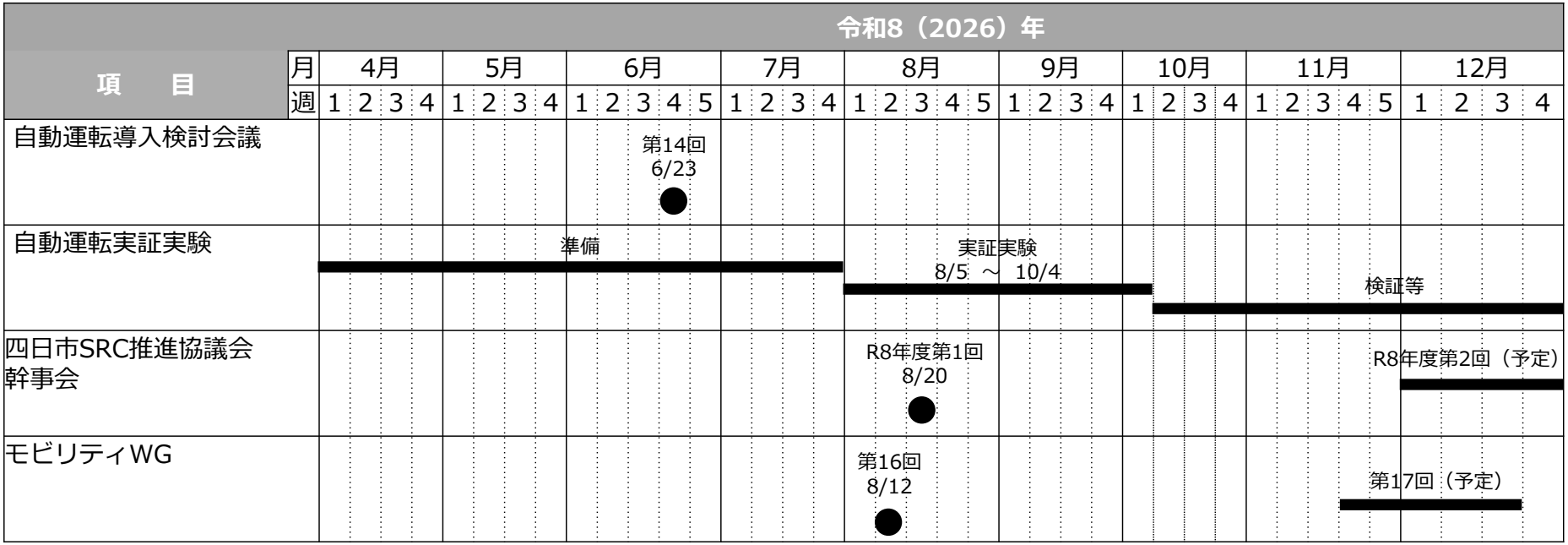
・令和7年度の自動運転実証実験及び四日市版MaaS事業の結果共有と振り返り、および令和8年度以降の四日市版MaaS事業に関する議論を実施

第16回WG　令和8年8月12日 (水)

- **R8年度自動運転実証事業について**
- **R8年度四日市版MaaS事業について**
- **意見交換**

・令和8年度の自動運転実証実験及び四日市版MaaS事業の進捗状況の共有、および今後に関する議論を実施

第15回モビリティWG以降の自動運転に関する取組状況



これまでの自動運転実証実験の取組概要

- 中央通り再編事業完了にあわせた回遊性向上を目指し、段階的な実証を実施しており、令和８年度は「信号協調＋カメラでの信号色認識」「後方検知」「夜間・夏季運行」に加え、「乗りやすい環境」の検証を実施予定。

【これまでの自動運転実証実験の取組】

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自動運転導入検討会議設立 <構成> 経済界、学識者、交通事業者、警察など <目的> 自動運転を公共交通や端末交通へ活用することや自動運転導入に係る基盤整備の検討等	**四日市市で初の実証実験を実施**  車両：乗用車(1台) 期間：２日間 場所：近鉄四日市駅～ＪＲ四日市駅 ▶自動運転車両の体験	**2回目の実証実験を実施**  車両：自動運転バス(1台) 期間：３日間 場所：近鉄四日市駅～ＪＲ四日市駅 ▶グリーンスローモビリティの適合性の確認	**3回目の実証実験を実施**  車両：自動運転バス(1台) 期間：25日間 場所：近鉄四日市駅～ＪＲ四日市駅 ▶信号協調・遠隔監視の検証	**4回目の実証実験を実施**  車両：自動運転バス(2台) 期間：17日間 場所：近鉄四日市駅～ＪＲ四日市駅 ▶信号協調・遠隔監視の再検証 ▶複数台（2台）走行の検証

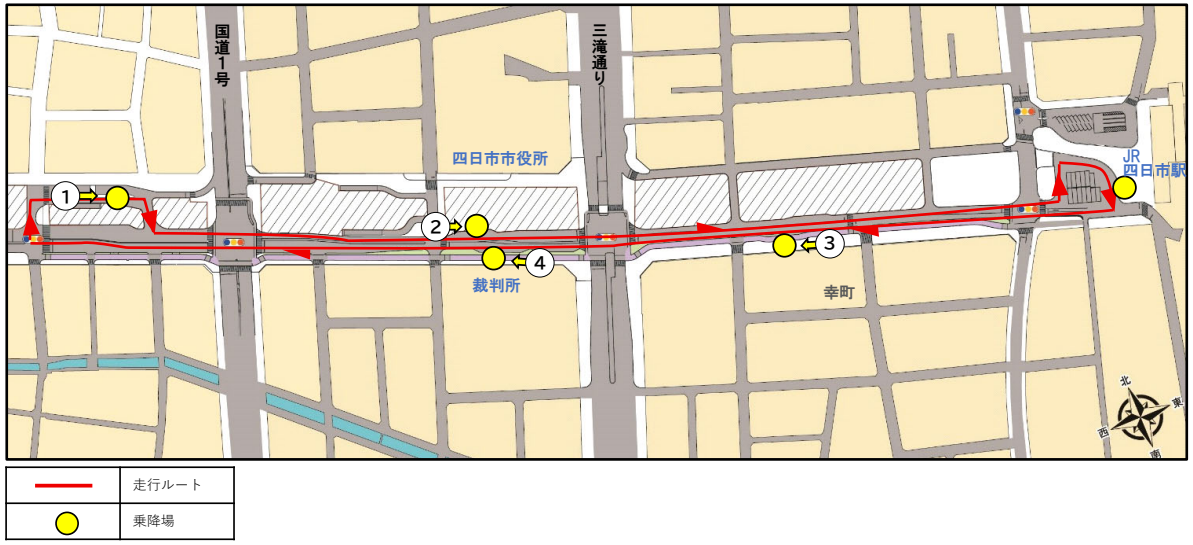
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	中央通り再編事業完了後～
5回目の実証実験を実施  車両：自動運転バス(2台) 期間：19日間 場所：近鉄四日市駅西側 ▶遠隔監視の再検証 ▶路車協調・新車両の検証 ▶MaaSシステムとの連携	**6回目の実証実験を実施**  車両：自動運転バス(1台) 期間：16日間 場所：市役所～JR四日市駅 ▶新たな道路での走行検証 ▶新車両の検証 ▶MaaSシステムとの連携	**７回目の実証実験を実施予定**  車両：自動運転バス(1台) 期間：45日間 場所：近鉄四日市駅東～JR四日市駅 ▶信号協調（車両連携）の検証 ▶後方検知の検証 ▶季節・時間帯の検証	**実証実験を継続** ※技術の進捗に伴う検証を実施	**中心市街地における回遊性向上を目的に中央通り再編事業完了とあわせて自動運転定常運行開始** ※定常運行後も引き続き自動運転技術向上に向けた検証を実施

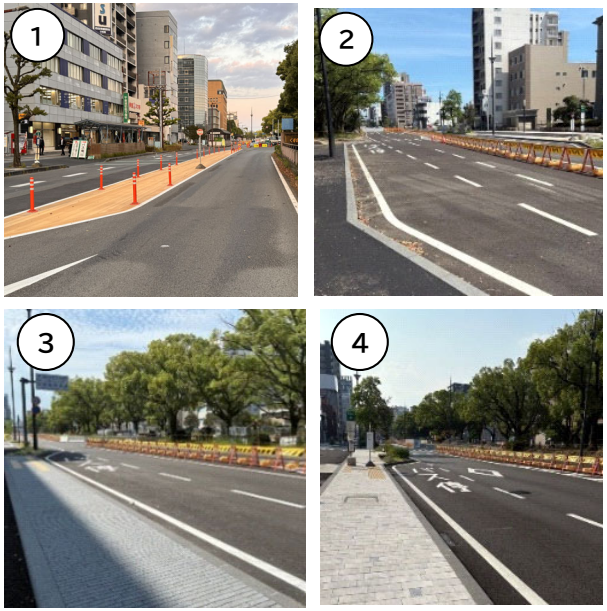
R８年度自動運転実証実験の運行概要

項目	内容
実施目的	中央通りでの自動運転車両実装に必要なインフラ検証を実施。自動運転の実装に向け必要なノウハウの蓄積を図る。
運行期間	令和8年8月5日(水)～10月4日(日)の45日間運行 ※月・火曜日は運休。8月1日（土）・2日（日）は大四日市まつりに車両展示実施
運行時間	水・日曜日：12時30分から16時13分
	木・金・土曜日：12時30分から21時21分
車両と運行形態	EVO3（1台／Navya社）を用いてレベル2運行
走行ルート	近鉄四日市駅東～市役所～JR四日市駅

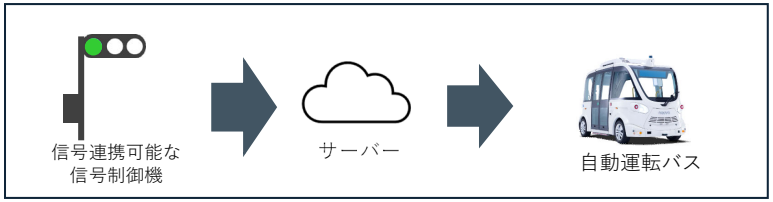
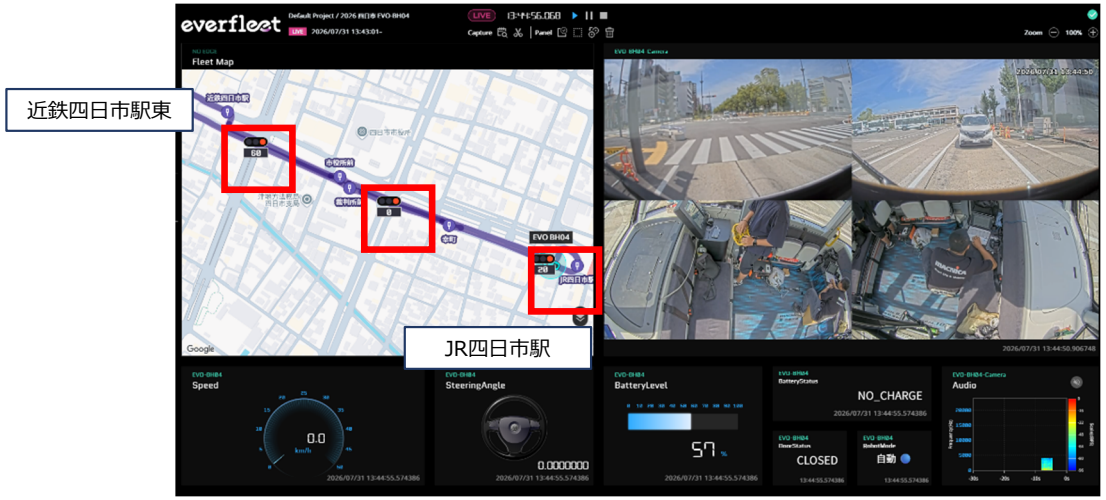


【走行ルート詳細】





R8年度自動運転実証実験の検証概要

番号	項目	内容
①	車両判断による 信号交差点の通行	過年度（令和４・５年度）は、信号制御機から車両に送信される信号情報（残秒数等）とあわせて、目視により運転士が通行判断を行っていたが、令和８年度は信号情報とあわせて、信号機の色情報を車両に搭載するカメラにより認識させることで、直接、車両が通行判断を行うことを検証 【信号協調システムのフロー】  【信号協調箇所と運行管理システム「everfleet」での管理状況】  ※遠隔監視室において運行管理システム上で信号情報（信号灯色及び残秒数）を確認できる体制を構築
②	後方検知による 乗降場からの本線合流の検証	過年度は、オペレーターが交通量を確認して乗降場から出発させていたが、自動運転車両のセンサー検知機能が向上したことにより、車両自身が後方から来る一般車両を検知し、自動で出発し本線合流できることを検証。

R8年度自動運転実証実験の検証概要

番号	項目	内容
③	夜間運行の検証	夜間における自動運転走行の安全性や利用需要を検証。
④	夏季運行の検証	夏季の高温下における車両状態を確認するため、空調稼働に伴う車両の充電への影響を検証するとともに、利用面への影響について検証。
⑤	乗りやすい環境の検証	過年度の実証実験では、事前予約制による乗車管理を行ってきたが、令和８年度は、より気軽に乗車してもらうために、電子チケット発行による運用※を試験的に実施し、過年度と今回の実証実験の結果をもとに、定常運行に向けた乗車方法を検討する。 ※紙の乗車券による受付も実施することで、スマートフォンを持っていない方へも対応

【過年度と令和８年度の実施内容の比較】

	電子チケット（新）	予約システム（旧）
予約機能	**なし**	あり
利用者の準備	**専用アプリ**のダウンロード・利用登録	ウェブサイト（ニワミチよっかいち）での利用登録
乗車方法	① 専用アプリから**電子チケット**を取得 ② 乗車したい便の乗降場で待つ ③ **空席を確認した後**、電子チケットの利用を開始し、**画面を提示**して乗車	① 特定の日・便を指定して事前に予約 ② 予約した便の乗降場で待つ ③ 提示した二次元コードの読み取り（端末照合）を経て乗車 ※　事前予約なしでも、空席がある場合、二次元コードの提示・読み取りにより当日乗車可能
利用者のメリット	・事前予約の手間がない ・都合の良い便に気軽に乗車できる	・確実に座席を確保できる
利用者のデメリット	満車時は希望の便に乗車できない場合がある	事前に特定の便を指定する必要がある（予約の発生）

音声ガイダンスの実施及び車内モニターの活用

- 音声ガイダンスにより乗降時の利用案内等を実施。
- 中央通り再編と連携した乗りたくなる仕組みづくりとして、車内モニターの活用を実施予定。

項目（予定）	内容（予定）
音声ガイダンスの実施	・往路及び復路の起終点となるJR四日市駅・近鉄四日市駅東の乗降時に実施
既存映像の放映	・中央通りの社会実験と同時開催した自動運転実証実験 ・よんまるテラス連絡通路開通式典　等

【既存映像例：よんまるテラス連絡通路開通式典】



【放映予定の車内モニター】

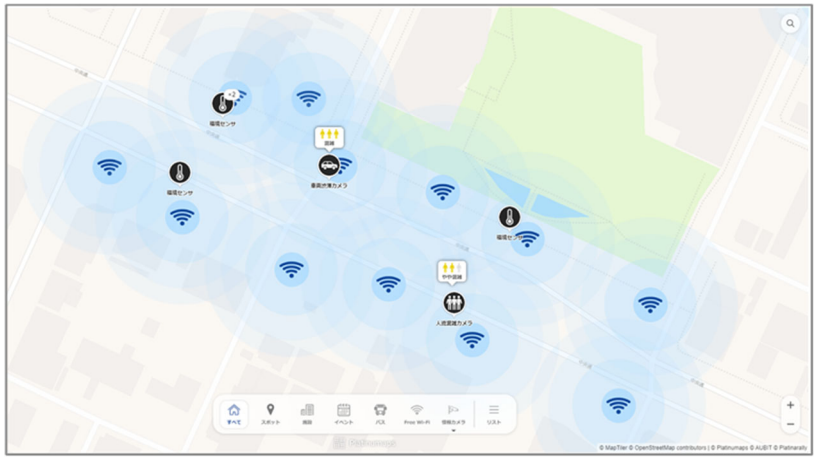


環境センサと自動運転データの連携検討

- スマートシティ実装化支援事業（令和5年度～令和7年度）のうち、「事業①　利活用空間活性化ツールの構築」では、スマートポール（AIカメラ・環境センサ等）を整備しており、これにより、中央通り沿いの混雑・渋滞状況、歩行者流動量、暑さ指数などの収集データを、ポータルサイト上でリアルタイムに確認できる。
- この環境センサで取得した気象データと、自動運転実証実験で得られた利用状況等のデータの「相関分析」について検討を進め、事業間の連携を図る。
  特に本年度の実証は、予約乗車ではないので過年度よりもその場の状況(天候・気温)に応じたネイティブな需要分析が期待できる。

中央通り沿道におけるスマート･ポールの整備
（AIカメラ、環境センサ等）

【ポータルサイト】



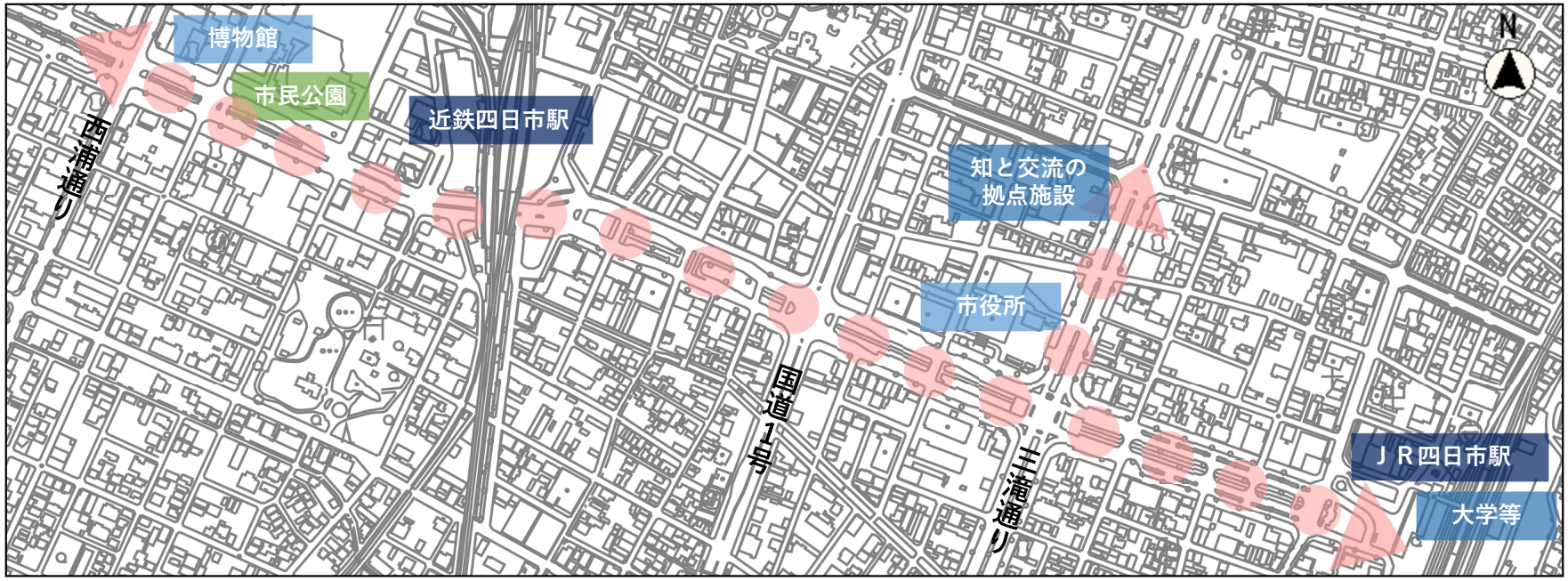


©yosuke ohtake

今後の自動運転導入に向けた取組について

- 令和９年度実施予定の路車協調や車線変更による障害物回避の検証を終えることで、自動運転車両の技術レベルは、レベル４に向けた一定の水準に達する見込みである。
- レベル４での走行環境の整備については、今後の検証において出てきた新たな課題への解消や、中央通り再編事業完了後の走行環境での安全性の検証を残すのみである。

- ルートについて、まずは「近鉄四日市駅～JR四日市駅間」における自動運転バスの定常運行を想定している。
- さらに「知と交流の拠点施設」の開館に合わせ、同施設へのアクセス手段として、より多くの市民が利用可能なルートへの延伸を図る計画である。



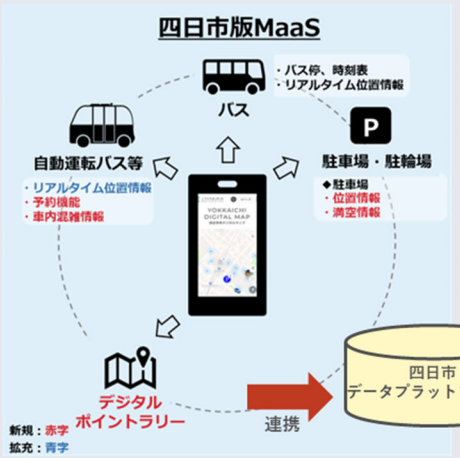
四日市版MaaS 3年間の取組まとめ

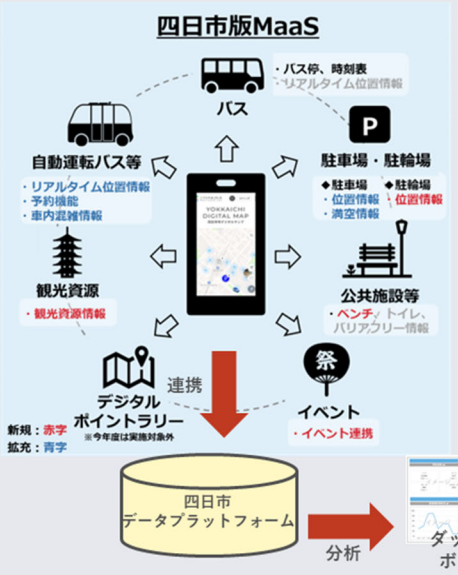
◆取組概要

- 四日市版MaaSは、3年間にわたり段階的な実証を実施してきた。
- 初年度は市民の行動変化や受容性を把握することを目的に実証を行い、2年目には四日市版MaaSのプロトタイプを構築、その有効性を検証、3年目には得られた知見を施策判断に活かすための基盤整備を進めた。

	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度
取り組みの位置づけ	回遊のきっかけづくり	行動を広げる仕組みづくり	データを活かす仕組みづくり
実施内容	• 自動運転バス等実証実験と連携したデジタルスタンプラリー	• 四日市版MaaSプロトタイプ構築 • 四日市データプラットフォームとの連携 • 商店（クーポンの提供）と連携したデジタルポイントラリー	• MaaS機能拡充 • MaaSデータダッシュボード構築







四日市版MaaS 3年間の取組まとめ

◆成果と課題

・３年間の成果として、イベント時の回遊性向上、モビリティの需要、データ可視化の有用性が得られた。

・３年間の課題として、イベント終了後の利用減少から、日常シーンでの価値設計の必要性が明確になった。同時に、ターゲットのニーズに基づいた利用設計と、公共交通以外の情報提供体制や運用体制の整備が、継続的なサービス提供の課題として挙げられた。

成果

1．回遊性の向上
- デジタルスタンプラリー等の「目的」を設定することで、イベント期間中における回遊行動の増加が確認された
- 徒歩と公共交通を組み合わせた移動に付加価値を与えることで、回遊性向上の可能性を検証できた

2．モビリティの需要
- 自動運転バスや電動キックボード等の提供により、移動手段があれば利用されることが確認された
- 利用者アンケートから、公共交通情報や自動運転運行情報は有用性が高く、デジタルマップの主な価値となっていることが確認された

3．ダッシュボードの有用性
- MaaSデータを可視化し、現状把握や施策検討に有用であるとの評価が得られた

課題

1．継続利用につながる価値設計
- 自動運転実証実験やイベント施策により利用者数は一時的に増加するが、施策終了後には利用が減少する傾向が見られた
- イベント起点の施策設計だけではなく、日常シーンで参照される価値設計が必要である

2．利用者拡大に向けたターゲット設計
- 利用者層の広がりや継続的な利用の拡大には伸びしろがある
- ターゲットごとのニーズや利用目的を明確にしたうえで、情報や機能の優先度を整理し、より的確なアプローチを行うことが必要である

3．運用体制の整理
- 公共交通情報以外の情報については、更新頻度や運用負荷の観点から、継続的な提供体制が十分に整理されていない
- 今後も安定的にサービスを提供し続けるための中長期的な運用体制の整理が必要である

四日市版MaaS事業の目指す姿について

◆目指す姿

・３年間の実証実験を踏まえ、四日市版MaaSは、交通情報を一元集約した情報基盤を構築し、地域課題を解消しながら、イベント連携等により移動に付加価値を生み出すサービスを目指す。

・令和8年度は『日常的・継続的な利用』と『MaaSの利用者拡大のための動線設計』の２つを重視し 、公共交通情報を中心に発信を強化する。

将来ビジョン

【基盤の構築】既存の交通サービスや情報と連携し、一元集約された情報基盤を構築する

【課題の解消】移動に関わる地域課題を解消する

【価値の創出】イベント等の情報を連動させ、移動の付加価値を生み出す

今後の方針

日常的・継続的な利用設計

MaaSの利用者拡大のための導線設計

R8年度四日市版MaaS事業の方針について

1．四日市版MaaSのサービス設計にあたり、重点的に取り組む項目と優先順位を下げる項目を明確にした。
2．万能性の追求と全員対応を避け、地域課題に即した重点的なアプローチにより、実際に利用されるサービスを構築する。

今後の方針

日常的･継続的な利用設計　　**MaaSの利用者拡大のための導線設計**

サービス設計

重点項目

①直感的な理解

利用者が理解のために、マニュアルを読んだり、別のサービスと組み合わせて使用することなく、直感的な操作・理解ができるものとする。

②先回りのサービス提供

利用者が目的に合わせて機能を探しに行くのではなく、サービス提供側が求めていることを先回りして提案できるものとする。

③他サービスとの連携

オープンな設計により、公共交通情報をはじめイベント情報などを、既存のサービスと連携できるものとする。

④リアル空間との接続

デジタル空間のみのサービスに留まらず、整備の進むバスタ・中央通りなどのリアル空間との接続をさせて、利用促進になるようなものとする。

優先順位を下げる項目

⑤万能なものであれ

利便性を追い求めて、過剰なサービス提供をすると、開発コストは高額になり、かつ利用者側も他のサービスとの比較軸が多様化して、結果、凡庸なものとなる。

⑥取りこぼしのない設計

利益を追い求めるために「どんな人でも」を過剰に追い求めると、サービスデザインも複雑となり、開発・検証機関も長期化する可能性が高い。

R8年度四日市版MaaS事業概要について

- 従来の実証から得られた内容から仮説を立て、以下の地域課題の解消を試みる。

仮説・地域課題の整理と取組内容

	日常的・継続的な利用設計	**MaaSの利用者拡大のための導線設計**
重点項目	①直感的な理解	②先回りのサービス提供
	③他サービスとの連携	④リアル空間との接続
地域課題	分断されている交通情報	行政施設間の移動ストレス	まちなかの回遊性向上 イベント時の移動ストレス軽減
ターゲット	既存の路線バス利用者	行政施設を利用する市民	回遊性向上に繋がる潜在需要層
取組内容	**取組①** **自動運転バス・路線バス情報の拡充** ・自動運転バスのリアルタイム情報発信 (位置情報、満空情報) ・路線バスのリアルタイム情報発信 (限定路線でバスロケ連携) ・更なる利便性向上を目的として情報発信 (近鉄・JRそれぞれのバスのりば情報)	**取組②** **行政施設間の円滑な移動提案** ・施設間路線バスのルート情報発信 (市役所・税務署・年金事務所等)	**取組③** **イベントにおける“面”での情報発信** ・交通規制箇所の表示 ・ランイベント等におけるコース表示

R8年度四日市版MaaS事業 取組内容の詳細について

- それぞれの取組内容の狙いとイメージは以下の通りとする。

取組①

自動運転バス・路線バス情報の拡充

＜内容＞

・自動運転バスのリアルタイム情報発信
(位置情報、満空情報)
・路線バスのリアルタイム情報発信
(限定路線でバスロケ連携)
・更なる利便性向上を目的として情報発信
(近鉄・JRそれぞれのバスのりば情報)

＜狙い＞

・分散している情報を直感的に理解できるよう
マップ配置し既存/新規ユーザー共に
心理的な障壁をなくす。



取組②

行政施設間の円滑な移動提案

＜内容＞

・施設間路線バスのルート情報発信
(市役所・税務署・年金事務所等)

＜狙い＞

・行政施設間を移動する選択肢に
公共交通を入れるためにも、
リアルタイムに更新される情報発信をする。



取組③

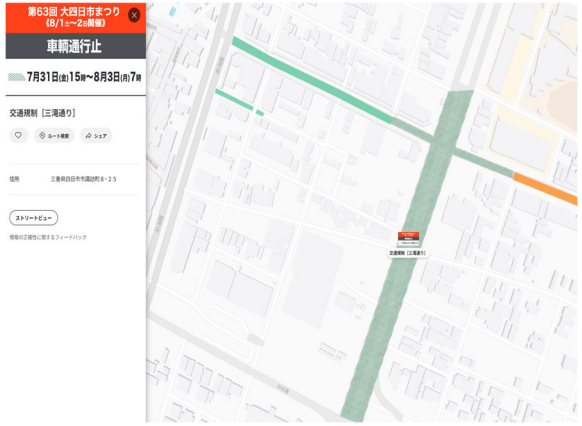
イベントにおける“面”での情報発信

＜内容＞

・交通規制箇所の表示
・ランイベント等におけるコース表示

＜狙い＞

・イベントといったMaaSへのユーザー流入が
期待できる局面で情報発信をすることで、
イベント中はもちろん、イベント後においても
公共交通の利用促進に繋げる。



R8年度四日市版MaaS事業 スケジュールについて

- R8年度スケジュールは以下の通りとする。

項　目	令和8（2026）年度																															
月	8月					9月				10月				11月					12月				1月				2月				3月				
週	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5
自動運転バスの情報表示																																			
路線バスの情報表示	改修									実装																									
イベントにおける情報表示	大四日市まつり									サイクル スポーツフェス																	ランフェス								
	四日市花火大会																																		
四日市版MaaSの在り方検討				R9年度		施策検討								バスタ開業に向けたロードマップ作成													R8年度				効果検証				

魅力あるまちへ向かって
未来はこうなる四日市！

本市は都市機能が集積した、利便性、安全性、快適性が高い市街地の形成を進め、皆さんが生涯にわたり健康で暮らしの中で楽しみと幸せを実感できるまちづくりを目指しています。
今回は「中央通り再編事業」、「スマートリージョン・コア」、「新大学の設置」、そして「四日市市都市計画マスタープラン全体構造の見直し」の視点で、未来に向けて本市がどのような姿に変わっていくのかを紹介します。



大学等拠点施設 （詳しくは P6 へ）

人材の育成、研究などを通じたイノベーションの創出、生涯教育などを行い、地域産業のさらなる成長と発展につなげることを目的とし、産学官民が一体となって新たな価値を創出する先進的な学びの場となる「四日市産業共創大学群（仮称）」の形成を目指します

知と交流の拠点施設

「滞在型図書館」や「多目的にも利用できる小規模ホール」、「カフェ」などの複合施設です。機能同士の相乗効果を生み出すことで、こどもから大人まで、多くの人が利用できる魅力ある施設を目指します

3 国道１号～JR 四日市駅周辺

中央通り公園を整備し、遊んだり、ゆっくりしたり、散歩したりできる空間になります

「ニワミチよっかいち」中央通り再編事業

車道を集約し、歩行者と自動車、自転車を分離することで、安全・快適でウォーカブルなまちなかに生まれ変わり、皆さんに楽しんで歩いていただけるようになります

1 近鉄四日市駅西側

- 駅や周辺のビルなどをつなぐ歩行者専用の通路となる歩行者デッキの整備などにより、オフィス・マンションなどの立地が進む駅西街区へスムーズな移動が可能になります
- 桜の名所、鵜の森公園がリニューアルします。こどもの好奇心と考える力を育む多様な遊具や誰もが楽しめるようにデザインされたインクルーシブ遊具を設置します

2 近鉄四日市駅東側

- 3カ所に点在していたバス乗り場を集約した、交通結節点「バスタ四日市」が完成予定です
- 駅とバスタが歩行者デッキで結ばれ、快適でバリアフリーな動線になります
- バスタにはにぎわい空間も設置され、さらなる楽しみが生まれます
- 諏訪公園は、芝生広場の整備や多目的利用可能なステージを設置します

スマートリージョン・コアの取り組み （詳しくはP5 へ）

スマートリージョン・コアは、中央通りの再編やバスタ整備と合わせて、デジタル技術を活用し、中心市街地のスマート化を進め、利用しやすい・活用しやすいまちづくりを目指す取り組みです。

- **スマートインフラの整備**
  ・スマートポール　・Free Wi-Fi
- **利活用空間活性化ツール**
- **デジタルマップ（四日市版 MaaS）**

各種公共交通情報が見られて、目的地まで迷わず快適なお出掛けが可能になります

- **自動運転バスの運行**
- **ニワミチよっかいちポータルサイト**
- **シェアまちよっかいち**

公園や道路空間を活用して、市民や周辺住民が楽しめる新たなにぎわいづくりができないか？

中央通りのオープンスペースを使って、市民参加型のイベントを開きたいけど、ハードルが高いのかな？

- **デジタルインフラ台帳**

画像：YKH-Keyvisual- ベース図 -rev10

車中心の道路から、「歩きたくなるウォーカブルな空間」へと生まれ変わる中央通り。中央通り再編による新たな日常を紹介します。

1 近鉄四日市駅西側


円弧デッキイメージ

将来の姿

車線数を削減して生まれたスペースは、緑豊かな歩行空間と独立した自転車道となります。円弧デッキにより、駅から再整備した鵜の森公園や駅西方面に安全かつスムーズに渡ることができます。

新たな日常

歩行者と自転車の移動が安全で快適になり、自動車も運転しやすくなります。オフィスやマンションが建ち並び、リニューアルした公園などではさまざまなイベントが開催されるなど、活気やにぎわいのある誰もが訪れたくなる場所になります。

2 近鉄四日市駅東側


「バスタ四日市」イメージ

将来の姿

車道を南側に集約して生まれた商店街側のスペースには、路線バスや高速バスの乗り場が集約された「バスタ四日市」を整備します。近鉄・あすなろう四日市駅とは屋根付きの歩行者専用通路によって結ばれ、快適にバスが利用できるようになります。

新たな日常

安全で快適な分かりやすい動線により、天候に左右されにくい環境で移動や乗り換えができます。将来的には自動運転バスなど、次世代モビリティの導入も予定されています。

3 国道１号～ JR 四日市駅周辺


中央通り公園イメージ

将来の姿

車道を南側に集約したことで生まれたスペースに、自転車と分離された歩行空間のある公園を整備します。公園内には、民間企業と連携したカフェや日常的な買い物ができる憩いの場所が広がります。

新たな日常

気軽に散歩し、遊び、休憩することができる「ニワミチ」空間が広がり、イベントを開催できるスペースもあるなど、居心地が良くワクワクする場所になります。公園内を通れば、歩行者は安全で安心に移動できます。

みんながバリアなくどこへでも行ける中央通りへ

歩行者専用通路は、できる限り段差をなくし、エレベーターやエスカレーターを設置するなど、誰もが利用しやすい通路として整備します。自転車や自動車と分離することで安全に通行できます。各所に休憩できるベンチも配置します。

駅からの移動や乗り換えの通路は 3.5 m以上の十分な広さを確保し、誰もが安全で安心して、そして快適に移動できるようになります。あすなろう四日市駅前の南広場のエレベーターの付近にはハンディキャップスペースを設け、福祉車両などでの送迎がスムーズになります。

再編された中央通りを舞台とした、利用しやすい・活用しやすいスマートリージョン・コアの取り組みを紹介します。

まちの様子がよく分かるスマートリージョン・コアの取り組み

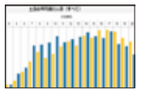
スマートインフラ

AI カメラや環境センサが搭載されたスマートポールを中央通り沿道に整備。渋滞状況、歩行者の流量、暑さ指数などのデータを収集します。



ダッシュボードの利用（利活用空間活性化ツール）

まちの「今」と「過去」が分かる便利なダッシュボード機能を搭載。スマートインフラが収集した、地点ごとの通行人数や気温などのデータをグラフなどで分かりやすく表示。月別・時間帯別の傾向まで簡単に確認できます。





出店者

デジタルマップ（四日市版 MaaS）

中心市街地周辺の施設情報、自動運転を含むバスの現在地、イベント情報のほか、市営駐車場の空きもひとまとめに確認できます。



Maas（Mobility as a Service）とは
出発地から目的地まで複数の移動手段をひとつのサービスとして捉え、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念

自動運転バスの運行

中心市街地の回遊性を高めるために近鉄四日市駅～JR 四日市駅間を含む中央通りを運行します。街並みをゆっくり眺めながら楽しく移動ができる、次世代型モビリティです。


令和７年度自動運転実証実験


令和８年度実証実験の詳細はこちら

各コンテンツの内容など中心市街地の情報は、「ニワミチよっかいちポータルサイト」から

ニワミチよっかいちポータルサイト

ポータルサイトを利用すればさまざまな情報が確認できます。事前にスマホで確認しておけば、混雑を避けて空いている時間を狙ったり、気になるイベントに立ち寄ったりと、あなたの時間がもっと有効に使え、そして楽しく過ごせます。



ポータルサイトはこちら

社会実験において活用中

シェアまちよっかいち

「イベントに出店したいのに、場所がない」そんな悩みに応えるための、公共空間などのオープンスペースとイベント出店などの要望をつなぐマッチングサービスです。3D機能や平面図、活用例もあり、出店が便利になります。



シェアまちよっかいちを活用した社会実験

デジタルインフラ台帳

埋設物事業者向けサービス

地下埋設物の位置を立体的に把握することができ、埋設物の維持管理の効率化や、災害時の迅速な意思決定が可能になります。



デジタルインフラ台帳のイメージ

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 市街地整備課 TEL 354-8200 FAX 354-8404
政策推進課 TEL 354-8112 FAX 354-3974
まちなか拠点創造課 TEL 354-8414 FAX 354-3974

まちづくりシンポジウムの開催について

資料⑦

１．事業概要

中央通り再編事業の進捗のＰＲ及び公共空間活用の機運醸成のため、社会実験を兼ねたまちづくりシンポジウム及び賑わい創出に係る付随イベントを開催したい。

２．日時及び場所について

日時について：１１月１３日（金）～１１月１５日（日）
主催者：四日市市　共催：(一社) 四日市観光協会
開催場所：メイン会場　市民公園
シンポジウム会場　ユマニテクプラザまたは都ホテル　トークサロン会場：環境未来館

３．社会実験の目的及びターゲット

社会実験の目的

① 中央通り整備後の四日市のまちづくりへの期待や参加意欲を高める

② 公共空間整備や今後のまちづくりについて、対外的なアピールを行う

ターゲット

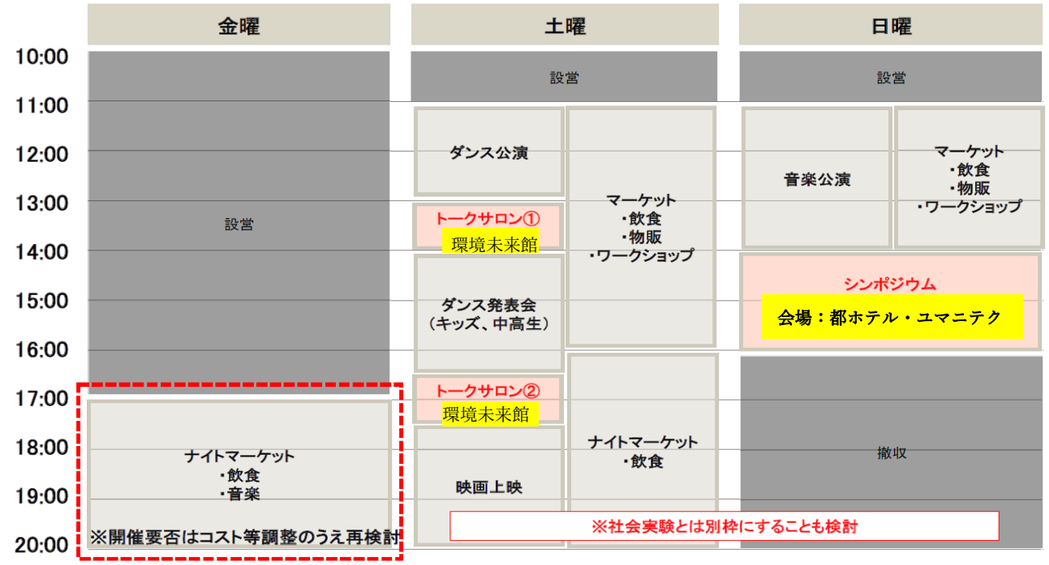
①-1 今後公共空間を活用する四日市に暮らす若い世代
①-2 今後中央通りを利活用する出展者（例：キッチンカー出店者等）
①-3 中心市街地まちづくりの関係者（例：地縁組織・企業等）

② 主に市外のまちづくりに関心のある人、一般市民

ターゲット訴求のための仕掛け

シンポジウム	物販・飲食などのコンテンツ	メディア
• 若い世代に訴求するこれからの公共空間の使い方を示すトークテーマ（例：ヒューマンスケールで見る中央通り再編、公共空間と住・商・業務空間の垣根を超えた四日市ならではの暮らし） • 新しい応援者を獲得するトークテーマ（例：公共交通とまちなかサービスの融合が生み出す街の未来）	【内容例】 • 物販 • 飲食（キッチンカー） • 映画上映 • 子供向けワークショップ • 音楽、ダンスパフォーマンス　など	• WEB・SNSによる広報 • 紙面（ポスター・フライヤー）による広報 • イベントの動画配信

４．事業構成（案）



５．事業構成の考え方について

今後の中央通りの将来像に触れられるよう、子供向けの体験や親向けのコンテンツを織り交ぜながら、滞在時間を延ばす仕掛けづくりが必要である。

	10-12時	12-15時	15-18時	18-20時
過ごし方イメージ①	子どものダンス発表会	キッチンカーでお昼ご飯を食べながらシンポジウムを聞く	子ども向けワークショップ参加	映画を見る
過ごし方イメージ②	キッチンカーや物販を見る	子ども向けワークショップ参加	映画までの間シンポジウムを聞く	映画を見る





６．まちづくりシンポジウムの構成イメージについて

	11/14(土)13時～予定	11/14(土)16時半～予定	11/15(日)12時～予定 シンポジウム
テーマ	トークサロン① **高校生と考える、ニワミチのみらい**	トークサロン② **公共空間から考える、ニワミチのみらい**	**まちのみなさんと考える、ニワミチのみらい**
目的	若者目線でニワミチでやってみたいことを話し、ファンを増やす	四日市ならではの「使われる公共空間」について、公共空間の利活用とデザインの視点でデザイナーを交えて議論。 四日市の魅力やニワミチへの期待、他都市事例なども踏まえ、まちとニワミチの魅力を伝え、シビックプライド育てる。	まちを使う側がミワミチに期待すること、ニワミチでやってみたいことを話し合い、ニワミチへの期待感を醸成する。
内容	1. 挨拶（5分） 2. 計画の概要（動画等）（5分） 3. パネリストの紹介（5分） 4. パネリストに質問形式でトーク（40分） →「ニワミチでやってみたいことは？」「四日市の魅力とは？」をパネルに書いてもらいトーク 5. 最後に一言ずつもらう（5分）	1. 挨拶（5分） 2. 計画の概要（動画等）（5分） 3. 他都市紹介（20分） 4. パネルディスカッション（30分） 5. 最後に（10分）	1. 市長挨拶（10分） 2. **トークサロン①②の振り返り**（10分） 3. 計画の概要（動画等）（5分） 4. パネリストの紹介（5分） 5. パネリストに質問形式でトーク（30分） ※サロン①同様 6. 観客インタビューで期待感ややってみたいことを聞く（10分） 7. 最後に一言ずつもらう（5分）
参加者	**モデレーター（司会/まとめ）：松本先生** パネリスト案（4－5名）： • 四日市高校の生徒 • ほか近隣高校の生徒	**モデレーター（司会/まとめ）：村山先生** パネリスト案： • 公共空間デザイナー（八木さん、馬場さんなど） • 他地域の公共空間先駆的事例を語れる方	**モデレーター（司会/まとめ）：有賀先生** パネリスト案（4－5名）： • 市長 • 諏訪新道などのまちづくり関係者 • 中心市街地まちづくり関係者（野村さんご都合あり） • 子ども系コンテンツホルダー • 商店街関係者/事業者 • 四日市市内イベント主催者 • 早稲田大学の学生
その他	• 授業の中でニワミチについて考えるような課題をやってもらい、その内容を当日高校生に発表してもらったり、課題に取組む様子を当日放映することができないか。	• 土曜日のセッションで話し合われたニワミチへの期待感などのコメントをまとめ、トークサロン③で披露。	• 事前に市民に向けたインタビュー動画撮影しておき、当日投影 • インタビュー動画はSNSでも活用

現在参加者調整中
中心市街地以外のまちづくりプレイヤーも登壇者へ

【賑わい創出に係る付随イベントについて】

■コンテンツのイメージ


スラックライン体験（MOTOR CAMP EXPO2024）


シルクスクリーンワークショップ（HANDo）


屋外映画上映（theGreen Theater vol.8）


音楽演奏（ TAMARIBA ）

7．シンポジウム開催に係る広報戦略について

既存メディアに加え、観光協会等の WEB サイト等との連携を行う。

ニワミチよっかいちインスタグラムは観光協会等が運営を担い、それぞれのメディアの棲み分けを行いながら、効率的な運営で周知を図る。

	対応者	掲載内容	前回社会実験時の意見交換内容
ニワミチよっかいち ポータルサイト	CTY	ニワミチよっかいち説明、デジタルマップ、AIカメラ、イベント情報、イベント出店者情報、SNSリンク、お知らせ	・情報の受け皿として活用。 ・社会実験に関わらず、ニワミチの活動やイベント情報を集約し、アーカイブしていく。 ・ニワミチの目指す方向性を示すことも必要
観光協会 WEBサイト・Instagram ほか	観光協会	お出かけ情報（グルメ・花見）、観光資源情報（萬古焼、酒）、イベント/社会実験の告知・募集	

8．事業実施に係る今後のスケジュール及び必要経費について

【スケジュール】

7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	⇒
イベント立案・出演者交渉・広報調整					小規模 社会実験 今後実施
	1 回目広報発信	2 回目広報発信		シンポジウム 実施	

【参考】

会場レイアウトイメージ

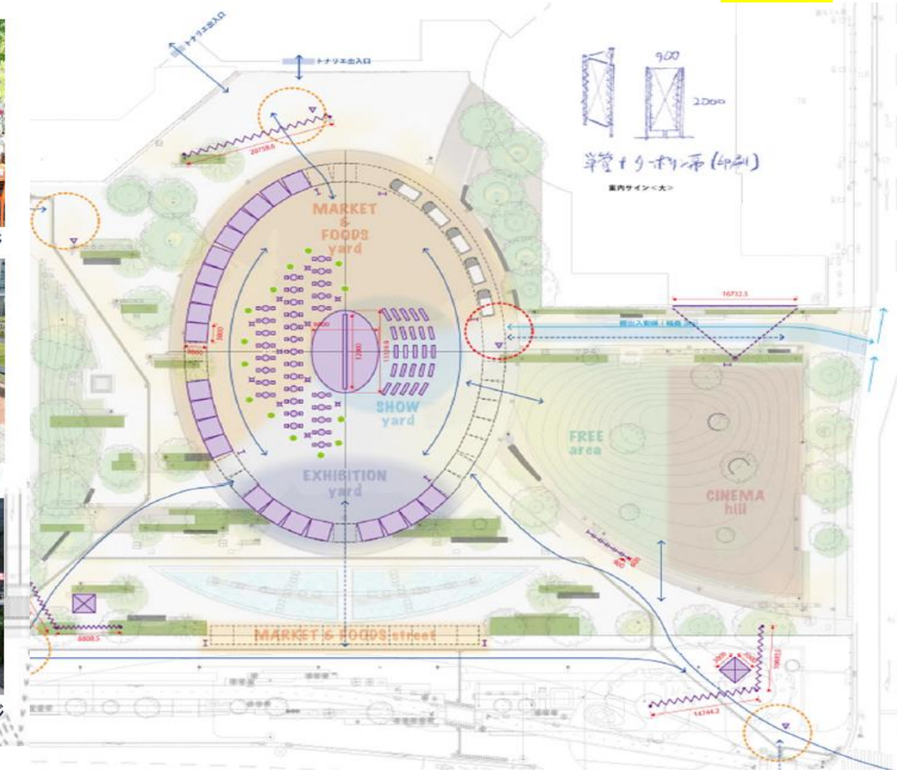
シンポジウムのためのステージ、マルシェ、子供向けワークショップ、中央通り再編に関するパネル展示のコンテンツを配置する。

検討中


マルシェイメージ


子ども向けワークショップイメージ


シンポジウムイメージ



令和８年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会　第１回幹事会
出席者名簿

別添1

８月２０日（木）１０：００～１１：３０
四日市商工会議所　３階　大会議室（オンライン併用）

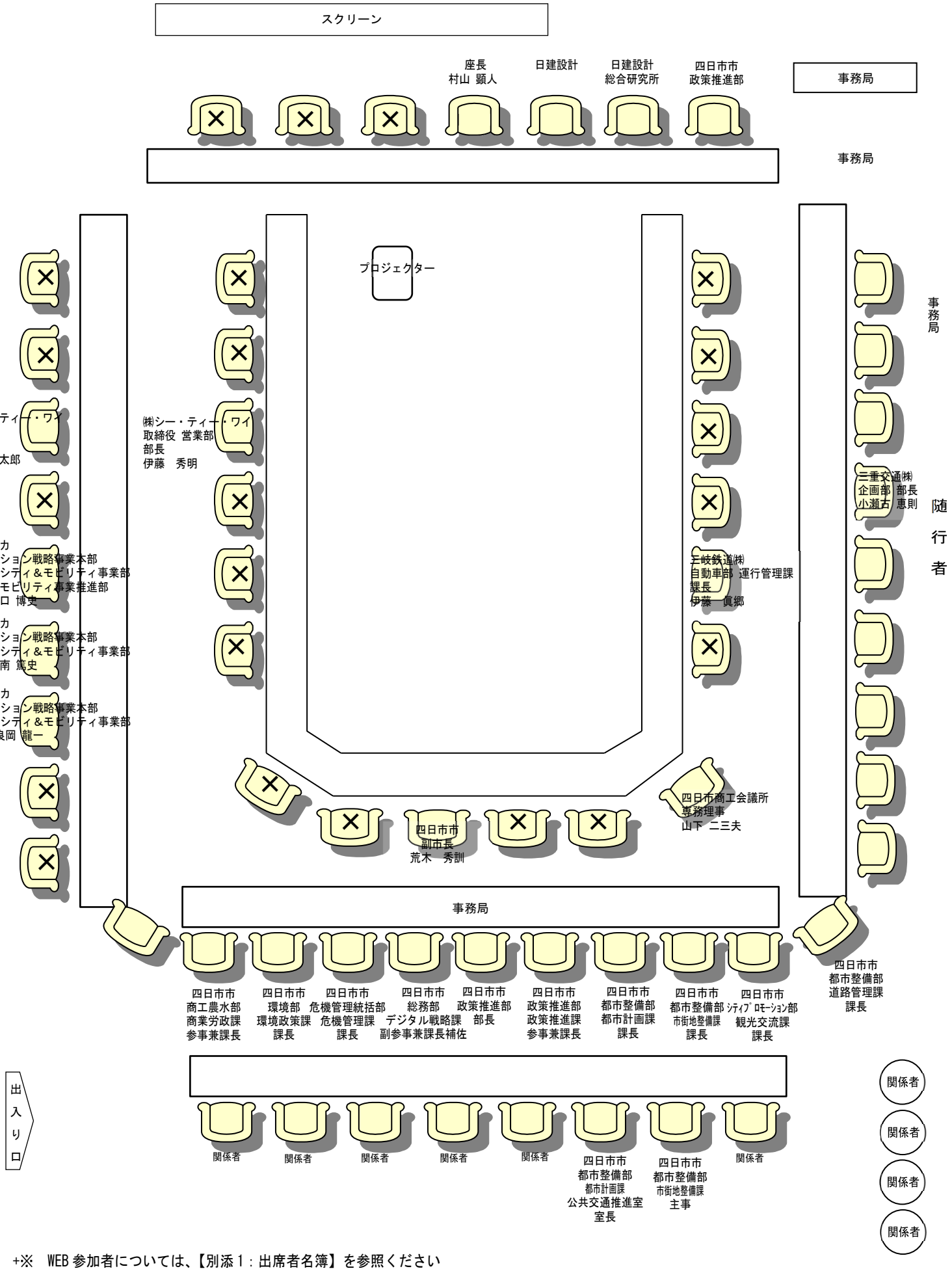
	区分	所　　属	氏　名	出欠	随行	現地／オンライン
幹事会役員	有識者	東京大学　大学院 工学系研究科　教授	村山　顕人	○		現地
		名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科　教授	松本　幸正	○		オンライン
		早稲田大学 理工学術院　教授	有賀　隆	○		オンライン
	交通関係者	近畿日本鉄道㈱　鉄道本部　名古屋統括部　施設部　部長	三重　和宣	○		オンライン
		三重交通㈱　取締役	高田　和昭	○	企画部 部長　小瀬古 恵則(現地)	現地
		三岐鉄道㈱　自動車部　運行管理課　課長	伊藤　眞郷	欠席		－
		（三重県タクシー協会北勢支部） ㈱三交タクシー　代表取締役社長	中村　良寛	欠席		－
	商工関係者 大規模権利者 事業展開企業	学校法人みえ大橋学園　理事長	大橋　正行	欠席		－
		㈱近鉄百貨店　四日市店　営業推進部　部長	木室　康弘	欠席		－
		四日市商工会議所　専務理事	山下　二三夫	○		現地
		近鉄グループホールディングス㈱　総合政策本部　経営企画部　部長	切中　義憲	○	総合政策本部　経営企画部 課長　森 有一郎(オンライン) 係長　坂井 厚太(オンライン)	オンライン
		近鉄不動産㈱　名古屋事業本部　賃貸事業部　部長	吉田　健	欠席		－
		㈱シー・ティー・ワイ　取締役 営業部 部長	伊藤　秀明	○	営業部 次長 山本 龍太郎(現地)	現地
		㈱三十三銀行　営業本部営業企画部　営業企画課　課長	森田 宏	欠席		－
	行政	国土交通省　中部地方整備局　三重河川国道事務所　副所長	伊藤　秀則	欠席		－
		三重県　県土整備部　都市政策課　副課長	雲（クモ）　匡司	○		オンライン
		四日市市　副市長	荒木　秀訓	○		現地
賛助会員		㈱日建設計　都市・社会基盤部門　シビルグループ　CM・測量部長	中村　出	○	都市・社会基盤部門 シビルグループ　CM・測量部 アソシエイト　河野 正雄(オンライン) 都市デジタルデザイン課 アソシエト　豊島 香須弥(オンライン)	オンライン
		早稲田大学　創造理工学部建築学科　講師	小松　萌	欠席		－
		㈱マクニカ　イノベーション戦略事業本部 スマートシティ＆モビリティ事業部 スマートモビリティ事業推進部 部長	山口　博史	○	イノベーション戦略事業本部 スマートシティ＆モビリティ事業部 スマートモビリティ事業推進部 課長　長南 篤史(現地) 担当　奈良岡 龍一(現地) 担当　小林 達哉(オンライン)	現地
オブザーバー	行政	国土交通省　都市局　街路交通施設課　街路交通施設安全対策官	髙濱　康亘	○	都市局街路交通施設課 課長補佐　渡邊 枢(オンライン)	オンライン
		国土交通省 都市局 国際・デジタル政策課　企画専門官	小林　真大	○		オンライン
		国土交通省　中部地方整備局　建政部　都市整備課長	藤田　剛	代理出席 都市整備課 課長補佐　村松 道康		オンライン
		国土交通省　中部運輸局　交通政策部　交通企画課長	髙野　克海	代理出席 交通企画課 調査員　竹内 貴大		オンライン
		国土交通省　中部運輸局　三重運輸支局　企画調整担当　首席運輸企画専門官	森　慶之	代理出席 企画調整担当 係員　松田 蒼生		オンライン

事務局	行政	四日市市　政策推進部	部長 川口　純史	
		四日市市　政策推進部　政策推進課	参事兼課長 大橋　剛	
		四日市市　危機管理統括部　危機管理課	課長 芝田　茂	
		四日市市　シティプロモーション部　観光交流課	課長 清水　秀樹	
		四日市市　商工農水部　商業労政課	参事兼課長 水谷　留尉	
		四日市市　商工農水部　工業振興課	参事兼課長 矢澤　賢太郎	※オンライン
		四日市市　環境部　環境政策課	課長 赤堀　剛寛	
		四日市市　総務部　デジタル戦略課	副参事兼課長補佐 吉田　純平	
		四日市市　都市整備部　道路管理課	課長 中村　昌彦	
		四日市市　都市整備部　都市計画課	課長 橋本　幹人	
		四日市市　都市整備部　都市計画課　公共交通推進室	室長 藤田　貴	
		四日市市　都市整備部　市街地整備課	課長 伊藤　直人	

別添２

令和８年度第１回四日市スマートリージョン・コア推進協議会　幹事会　席次表

令和８年８月20日(木)　10:00～11:30
四日市商工会議所　３階　大会議室（オンライン併用）



+※　WEB参加者については、【別添１：出席者名簿】を参照ください